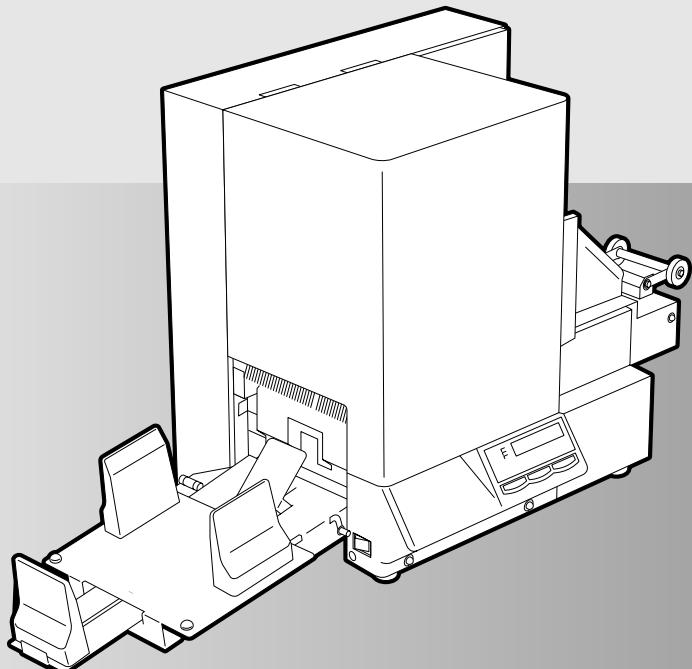


TEC

プリンタドライバ操作マニュアル

テック 名刺・ハガキプリンタ

CI-100/200



- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

目次

▶ はじめに	3
▶ 本書の表記について	4
文中の表記上の約束	4
本書で使用しているマークの意味	4
▶ プリンタドライバの概要	5
動作環境	5
▶ プリンタドライバのインストール	6
プリンタドライバをインストールする	6
Windows 98/Windows Me	7
Windows NT 4.0	11
Windows 2000	15
Windows XP	20
ネットワークでプリンタを使う	24
プリンタドライバをアンインストールする	25
▶ 印刷までの手順	26
手順 1: 新規用紙を作成する	26
手順 2: カラー設定を行う	26
手順 3: 印刷データを作成・印刷する	27
▶ プリンタプロパティの設定	31
プリンタプロパティの表示のしかた	31
画面の見かた	32
[印刷設定] タブ	33
用紙情報変更	34
[印刷品質] タブ	36
[カラー設定] タブ	39
CI-100をお使いの場合	39
CI-200をお使いの場合	40
色の境界線を塗りつぶす	42
メタリックカラーリボン使用時の印刷方法	43
プリンタドライバとアプリケーションのカラー設定について	44
スクラッチカードの印刷方法	45
[用紙設定] タブ	46
▶ 用紙設定ツールの操作方法	47
用紙設定ツールを起動する	47
画面の見かた	49
コマンドメニューの機能	51
用紙リスト画面表示時	51
イメージ編集画面表示時	53
新しい用紙を作成する	55
用紙情報を編集する	57
[用紙] ダイアログボックスの説明	58
印字位置を微調整する	62
用紙リストの順番を変更する	64
印字位置調整用パターンを印刷する	65
▶ 困ったときは	70

はじめに

本書は、テック名刺・ハガキプリンタ（以下 本機またはプリンタ）に付属しているプリンタドライバのインストール方法、印刷時の各種設定操作、および用紙設定ツールの操作方法について解説したものです。

お知らせ

- このソフトウェアおよび本書の著作権は、東芝テック株式会社にあります。
- このソフトウェアおよび本書の一部または全部を、無断で使用・複製することは禁止されています。
- このソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- このソフトウェアおよび本書を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、および本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しております。万一、ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本機（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格などには適合しておりません。本機を日本国外で使用された場合、当社は責任を負いかねます。また、当社は本機に関する日本国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っておりません。

- Windows 98 の正式名称は、Microsoft Windows 98 Operating System です。
- Windows Me の正式名称は、Microsoft Windows Millennium Edition Operating System です。
- Windows 2000 の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating System です。
- Windows XP の正式名称は、Microsoft Windows XP Operating System です。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Pentium は、Intel Corporation の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の表記について

文中の表記上の約束

- 文中の [] (角かっこ) で囲まれた文字列
ソフトウェアやウィンドウ、ダイアログボックス、ボックス、メニューなどの名前です。
- 文中の 【 】 (太かっこ) で囲まれた文字列
画面上に表示されるボタンやキーボード上のキーなどの名前です。
- クリック
マウスの左ボタンを1回押す操作です。
- ダブルクリック
マウスの左ボタンを2回押す操作です。
- 右クリック
マウスの右ボタンを1回押す操作です。
- ドラッグ
マウスの左ボタンを押したままマウスを移動させる操作です。
- ポイント
マウスを動かしてマウスポインタを目的のアイコンやメニューなどに合わせる操作です。

補足

- ・ 本書や Windows のヘルプは、ユーザーが右ききであることを前提として説明しています。左きき用にマウスのボタンの役割を切り替えている方は、クリックするボタンが逆になります。

本書で使用しているマークの意味

- お願い** : できないこと、してはいけないこと、注意していただきたい情報について記述しています。
- 補足** : 知っていると便利なことや補足情報を記述しています。
- ➡『 』 : 詳しい説明のあるページを記述しています。
例) ➡『P.15』

プリンタドライバの概要

動作環境

● 機種

Intel 社製 CPU Pentium (150MHz 以上) 相当またはそれ以上の CPU を搭載した PC/AT 互換機

● 対応 OS

- Windows 98
- Windows 98 Second Edition
- Windows Me
- Windows NT Workstation 4.0 Service Pack 3以降
- Windows NT Server 4.0 Service Pack 3以降
- Windows 2000 Professional
- Windows 2000 Server
- Windows XP Home Edition
- Windows XP Professional

● メモリ

64MB 以上 (128MB 推奨)

● ハードディスク

10MB 以上の空き容量

お願い

- Windows XPをお使いの場合は、システムの必要条件により、以下の動作環境が必要になります。

CPU : 300MHz 以上

メモリ : 128MB 以上

ハードディスク : 1.5GB 以上

プリンタドライバのインストール

ここでは、お使いのパソコンにプリンタドライバをインストールする手順、およびプリンタドライバをアンインストールする手順について説明します。

プリンタドライバをインストールする

ここでは、本機が直接接続されているパソコンにプリンタドライバをインストールする手順を説明します。

プリンタドライバのインストール手順は、お使いのパソコンにインストールされている Windows のバージョンによって異なります。

お使いの Windows バージョンのインストール手順を参照してください。

- Windows 98/Windows Me ➡『P.7』
- Windows NT 4.0 ➡『P.11』
- Windows 2000 ➡『P.15』
- Windows XP ➡『P.20』

補足

- 本機が接続されているパソコンがネットワークに接続されている場合は、その他のネットワーク上のパソコンから印刷することもできます。ネットワーク上のパソコンから本機に印刷したい場合は、別途「共有プリンタ」の設定とそれぞれのパソコンへのプリンタドライバのインストールが必要になります。
➡『P.24』

Windows 98/Windows Me

Windows 98 と Windows Me にプリンタドライバをインストールする手順は同じです。ここでは、Windows 98 にプリンタドライバをインストールする手順を例に説明します。

お願い

- Windows 上で他のプログラムが起動中でないことを確認してください。起動しているプログラムがある場合は、終了させてください。

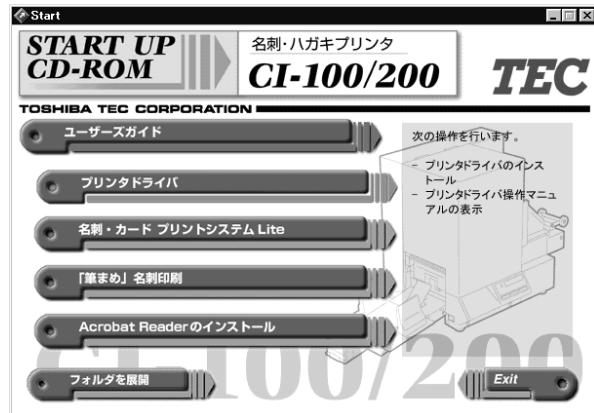
1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットします。

自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されます。

補足

- 自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されない場合は、CD-ROM の「ci100200」フォルダをエクスプローラで開き、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

2 【プリンタドライバ】をクリックします。

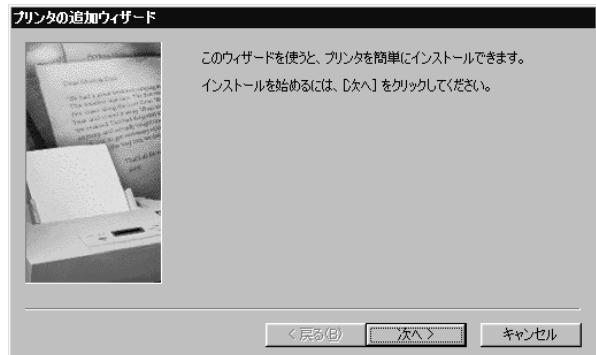


3 【プリンタドライバのインストール】をクリックします。

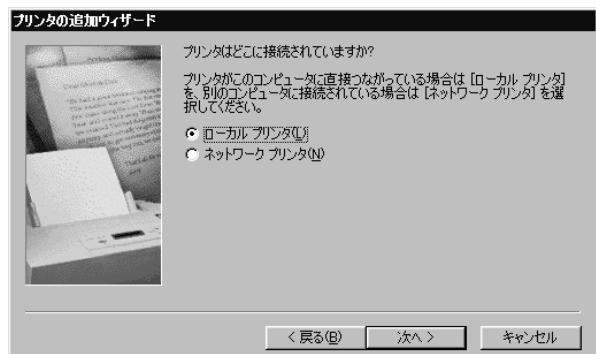
[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。



4 【次へ>】をクリックします。



5 [ローカルプリンタ(L)]を選択し、【次へ>】をクリックします。



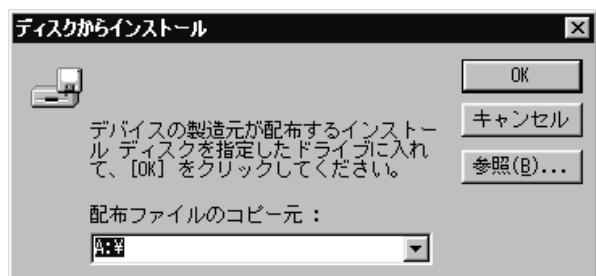
6 【ディスク使用(H)...】をクリックします。

[ディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。



7 【参照(B)...】をクリックします。

[開く]ダイアログボックスが表示されます。

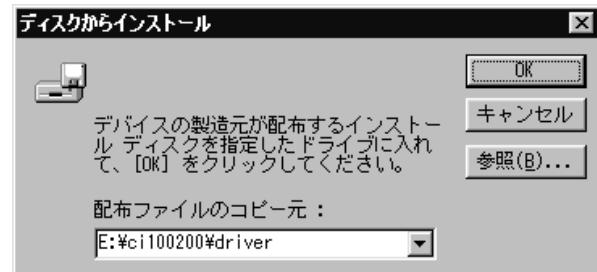


8 [ドライブ(V)]ボックスでパソコンのCD-ROM ドライブを選択し、[フォルダ(F)]ボックスで「ci100200¥driver」フォルダを選択します。

[ファイル名(N)]ボックスの一覧に表示された「ci200.inf」ファイルを選択し、[OK]をクリックします。



9 【OK】をクリックして、[ディスクからインストール]ダイアログボックスを閉じます。



10 [プリンタ(P)]の一覧から、お使いのプリンタの種類を選択します。

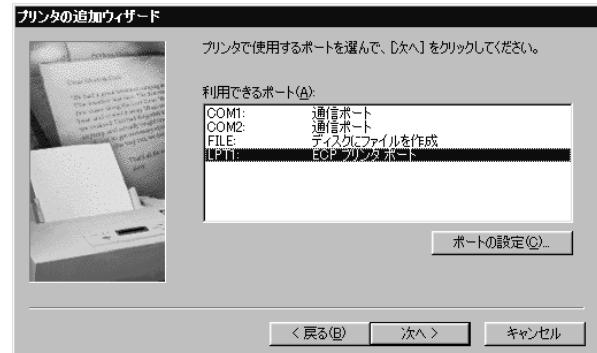
CI-100をお使いの場合は、[TEC CI-100]を選択します。

CI-200をお使いの場合は、[TEC CI-200]を選択します。

11 【次へ>】をクリックします。



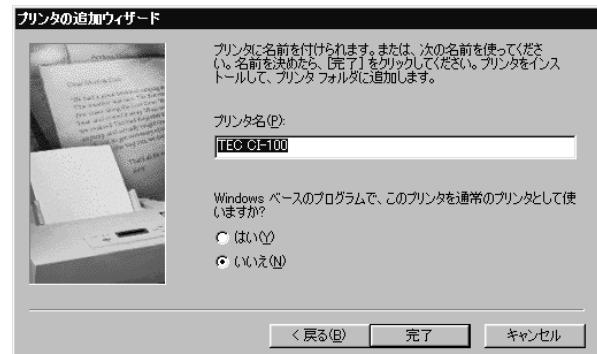
12 [利用できるポート(A)]の一覧から、[LPT1:]を選択し、【次へ>】をクリックします。



13 【完了】をクリックします。

補足

- ・プリンタ名を変更したい場合は、[プリンタ名(P)]に入力されている名前を変更します。ここで付けた名前が、Windows アプリケーションでプリンタを選択するときに表示される名前になります。
- ・すでにお使いの Windows に他のプリンタが追加されている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして設定するかどうかを選択することができます。通常使うプリンタとして設定する場合は、[はい(Y)]を選択します。



14 必要なファイルをWindowsにコピーし、インストールを完了します。

追加したプリンタは、Windowsの[プリンタ]フォルダに表示されます。【スタート】ボタンをクリックし、[設定(S)]—[プリンタ(P)]を選択して、[プリンタ]フォルダを開いてプリンタが追加されているかどうかを確認してください。



Windows NT 4.0

お願い

- Windows上で他のプログラムが起動中でないことを確認してください。起動しているプログラムがある場合は、終了させてください。
- Windows NT 4.0に、管理者権限またはシステム変更の権限を持ったユーザー名でログインする必要があります。

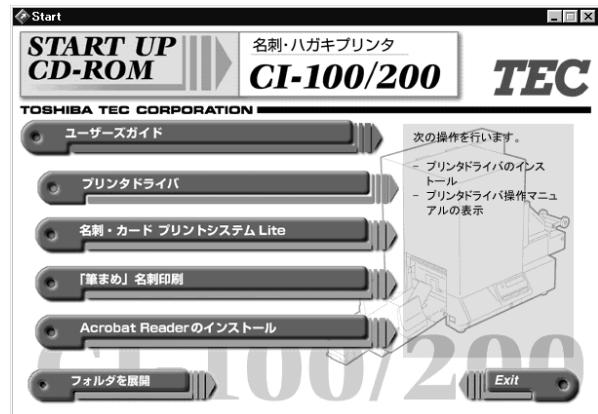
1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットします。

自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されます。

補足

- 自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されない場合は、CD-ROMの「ci100200」フォルダをエクスプローラで開き、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

2 【プリンタドライバ】をクリックします。



3 【プリンタドライバのインストール】をクリックします。

[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。



4 [このコンピュータ(M)]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。



5 [利用可能なポート(A)]の一覧から、[LPT1:]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。

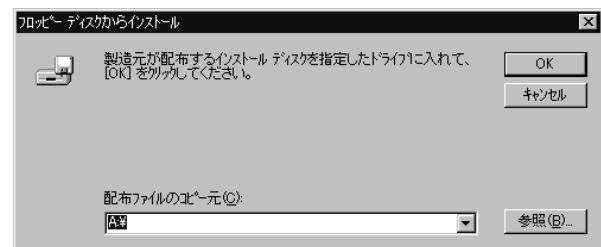


6 【ディスク使用(H)...】をクリックします。

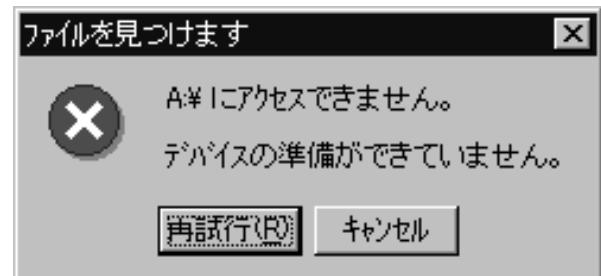
[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。



7 【参照(B)...】をクリックします。



8 右のメッセージが表示されたら、【キャンセル】をクリックします。



9 [ファイルの場所(L)]ボックスでパソコンのCD-ROMドライブを選択すると、一覧にCD-ROMのフォルダ内容が表示されるので、「ci100200¥driver」フォルダを選択します。

フォルダ内容の一覧に表示された「ci200.inf」ファイルを選択し、【開く(O)】をクリックします。

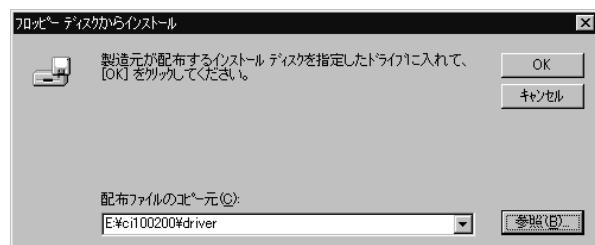
10 【OK】をクリックして、[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスを閉じます。



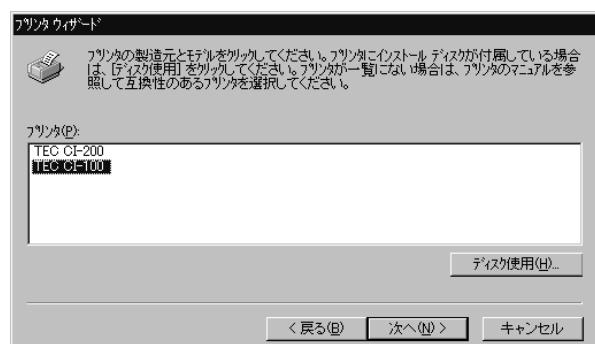
11 [プリンタ(P)]の一覧から、お使いのプリンタの種類を選択します。

CI-100をお使いの場合は、[TEC CI-100]を選択します。

CI-200をお使いの場合は、[TEC CI-200]を選択します。



12 【次へ(N)>】をクリックします。



13 【次へ(N)>】をクリックします。

補足

- ・ プリンタ名を変更したい場合は、[プリンタ名(P)]に入力されている名前を変更します。ここで付けた名前が、Windows アプリケーションでプリンタを選択するときに表示される名前になります。
- ・ すでにお使いの Windows にその他のプリンタが追加されている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして設定するかどうかを選択することができます。通常使うプリンタとして設定する場合は、[はい(Y)]を選択します。



14 [共有しない(O)]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。



15 [いいえ(O)]を選択し、【完了】をクリックします。

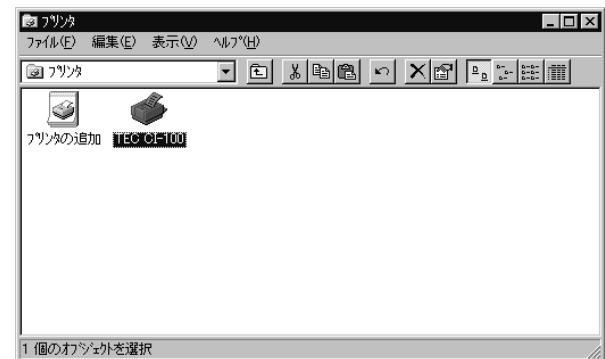
お願い

- ・テストページは行わないでください。正しく印刷の設定をしてからでないと、プリンタの状態によっては印刷できずにエラーになることがあります。



16 必要なファイルをWindowsにコピーし、インストールを完了します。

追加したプリンタは、Windowsの[プリンタ]フォルダに表示されます。【スタート】ボタンをクリックし、[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択して、[プリンタ]フォルダを開いてプリンタが追加されているかどうかを確認してください。



Windows 2000

お願い

- Windows 上で他のプログラムが起動中でないことを確認してください。起動しているプログラムがある場合は、終了させてください。
- Windows 2000 に、管理者権限またはシステム変更の権限を持ったユーザー名でログインする必要があります。

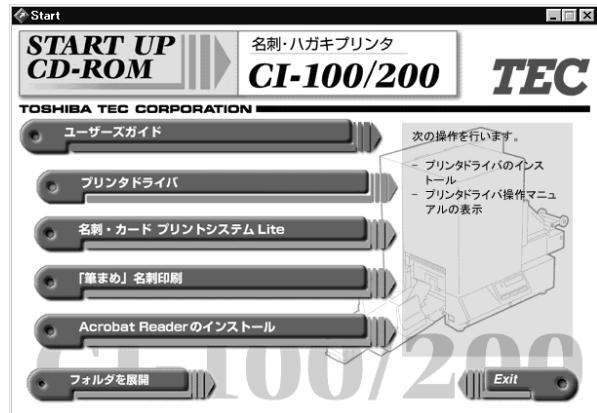
1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットします。

自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されます。

補足

- 自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されない場合は、CD-ROM の「ci100200」フォルダをエクスプローラで開き、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

2 【プリンタドライバ】をクリックします。

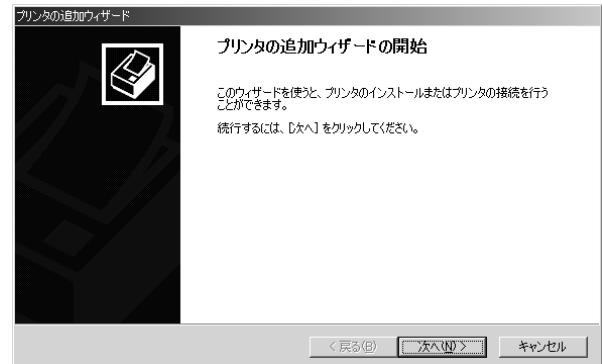


3 【プリンタドライバのインストール】をクリックします。

[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

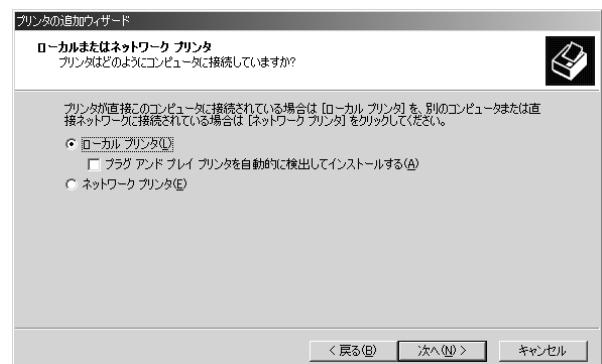


4 【次へ(N)>】をクリックします。

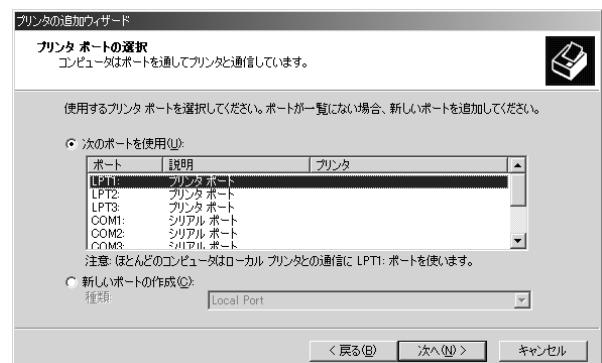


5 [ローカルプリンタ(L)]を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする(A)]のチェックボックスを解除します。

【次へ(N)>】をクリックします。

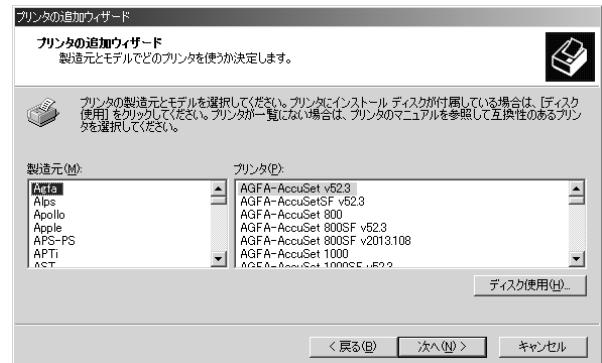


6 [次のポートを使用(U)]の一覧から、[LPT1:]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。

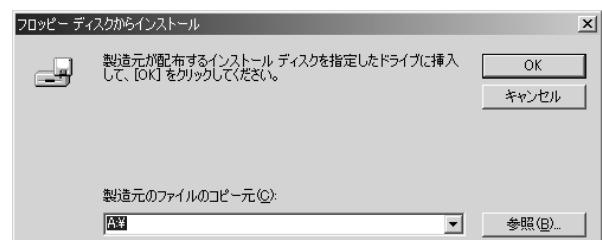


7 【ディスク使用(H)...】をクリックします。

[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。



8 【参照(B)...】をクリックします。



9 [ファイルの場所(L)]ボックスでパソコンのCD-ROMドライブを選択すると、一覧にCD-ROMのフォルダ内容が表示されるので、「ci100200¥driver」フォルダを選択します。

フォルダ内容の一覧に表示された「ci200.inf」ファイルを選択し、【開く(O)】をクリックします。

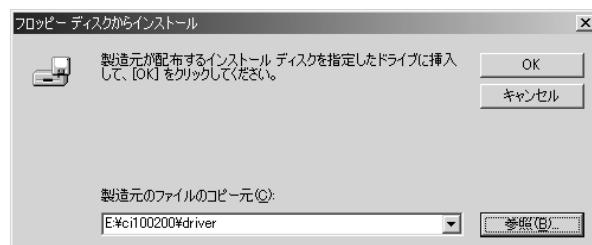
10 【OK】をクリックして、[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスを閉じます。



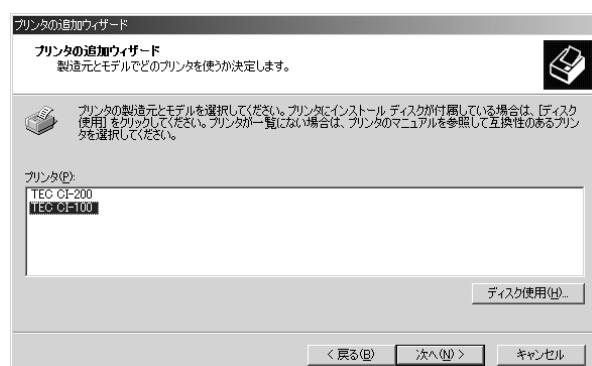
11 [プリンタ(P)]の一覧から、お使いのプリンタの種類を選択します。

CI-100をお使いの場合は、[TEC CI-100]を選択します。

CI-200をお使いの場合は、[TEC CI-200]を選択します。



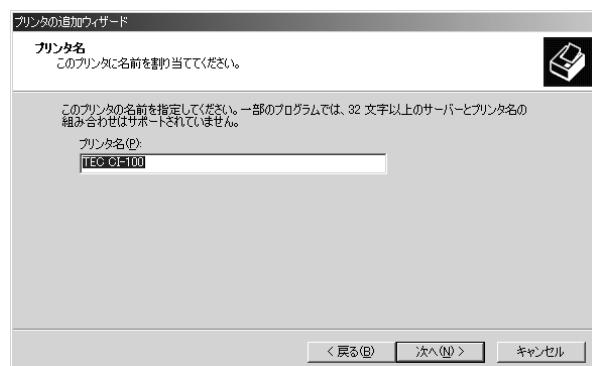
12 【次へ(N)>】をクリックします。



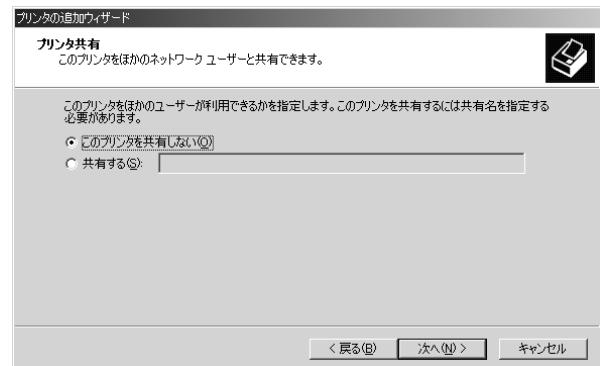
13 【次へ(N)>】をクリックします。

補足

- ・ プリンタ名を変更したい場合は、[プリンタ名(P)]に入力されている名前を変更します。ここで付けた名前が、Windows アプリケーションでプリンタを選択するときに表示される名前になります。
- ・ すでにお使いの Windows にその他のプリンタが追加されている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして設定するかどうかを選択することができます。通常使うプリンタとして設定する場合は、[はい(Y)]を選択します。



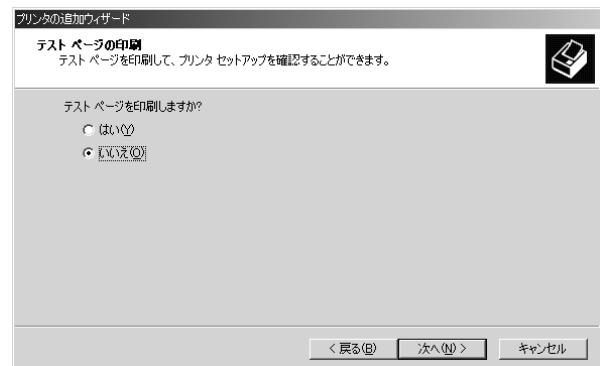
14 [このプリンタを共有しない(O)]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。



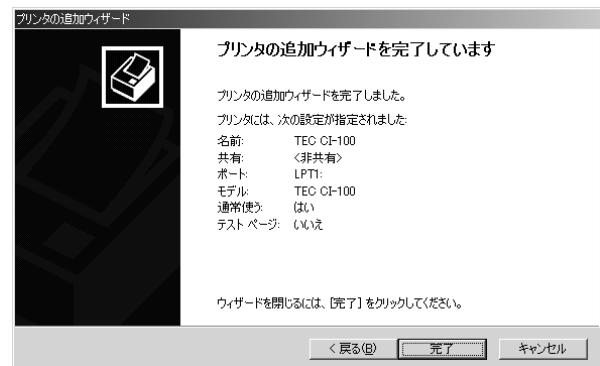
15 [いいえ(O)]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。

お願い

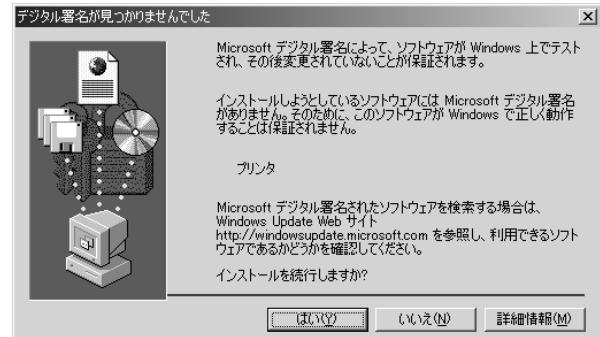
- ・テストページは行わないでください。正しく印刷の設定をしてからでないと、プリンタの状態によっては印刷できずにエラーになることがあります。



16 【完了】をクリックします。



17 右のメッセージが表示されたら、【はい(Y)】をクリックして、インストールを続行します。



18 必要なファイルをWindowsにコピーし、インストールを完了します。

追加したプリンタは、Windowsの[プリンタ]フォルダに表示されます。【スタート】ボタンをクリックし、[設定(S)]—[プリンタ(P)]を選択して、[プリンタ]フォルダを開いてプリンタが追加されているかどうかを確認してください。



Windows XP**お願い**

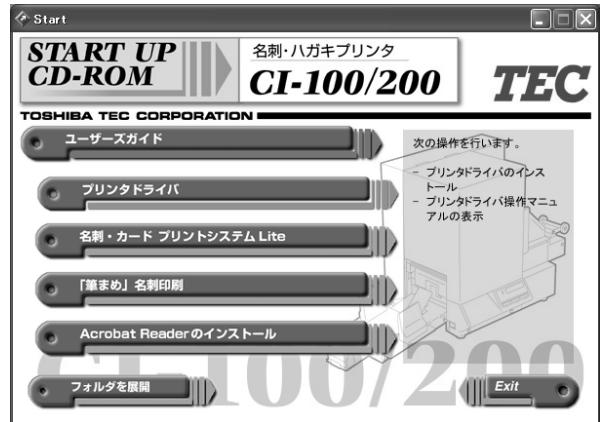
- Windows上で他のプログラムが起動中でないことを確認してください。起動しているプログラムがある場合は、終了させてください。
- Windows XPに、管理者権限またはシステム変更の権限を持ったユーザー名でログインする必要があります。

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブへセットします。
自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されます。

補足

- 自動的にスタートアップダイアログボックスが表示されない場合は、CD-ROMの「ci100200」フォルダをエクスプローラで開き、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

2 【プリンタドライバ】をクリックします。

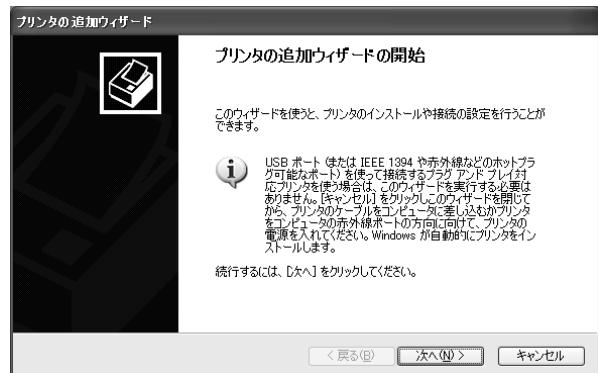


3 【プリンタドライバのインストール】をクリックします。

[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

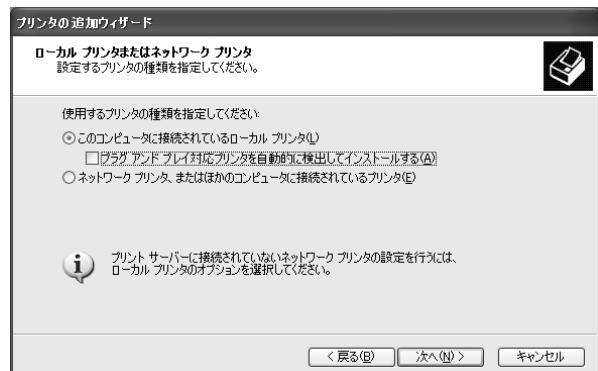


4 【次へ(N)>】をクリックします。



5 [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ(L)]を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする(A)]のチェックボックスを解除します。

【次へ(N)>】をクリックします。



6 [次のポートを使用(U)]ボックスで、[LPT1:(推奨プリンタポート)]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。

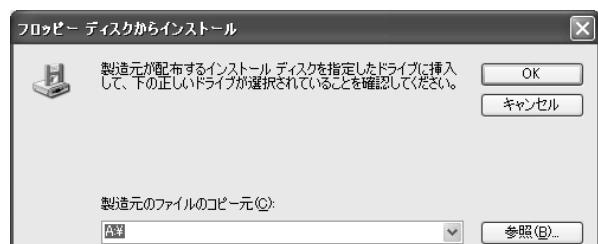


7 【ディスク使用(H)...】をクリックします。

[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。



8 【参照(B)...】をクリックします。



9 [ファイルの場所(I)]ボックスでパソコンのCD-ROMドライブを選択すると、一覧にCD-ROMのフォルダ内容が表示されるので、「ci100200¥driver」フォルダを選択します。

フォルダ内容の一覧に表示された「ci200.inf」ファイルを選択し、【開く(O)】をクリックします。

10 【OK】をクリックして、[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスを閉じます。

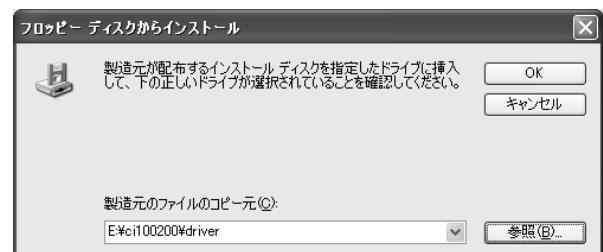


11 [プリンタ]の一覧から、お使いのプリンタの種類を選択します。

CI-100をお使いの場合は、[TEC CI-100]を選択します。

CI-200をお使いの場合は、[TEC CI-200]を選択します。

12 【次へ(N)>】をクリックします。

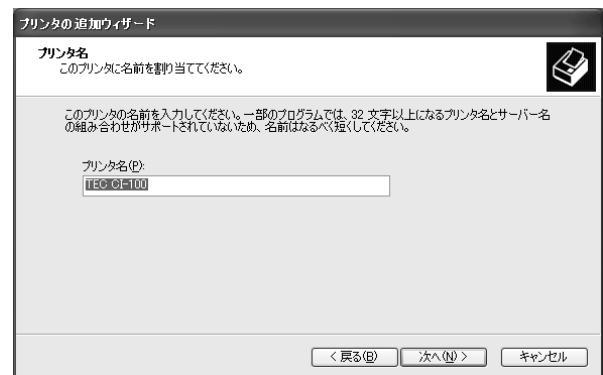


13 【次へ(N)>】をクリックします。



補足

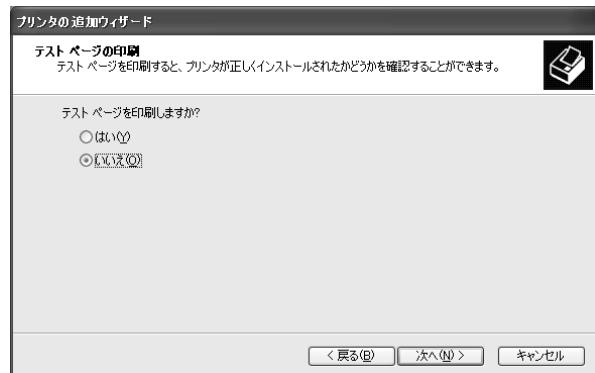
- ・プリンタ名を変更したい場合は、[プリンタ名(P)]に入力されている名前を変更します。ここで付けた名前が、Windows アプリケーションでプリンタを選択するときに表示される名前になります。
- ・すでにお使いの Windows にその他のプリンタが追加されている場合は、このプリンタを通常使うプリンタとして設定するかどうかを選択することができます。通常使うプリンタとして設定する場合は、[はい] を選択します。



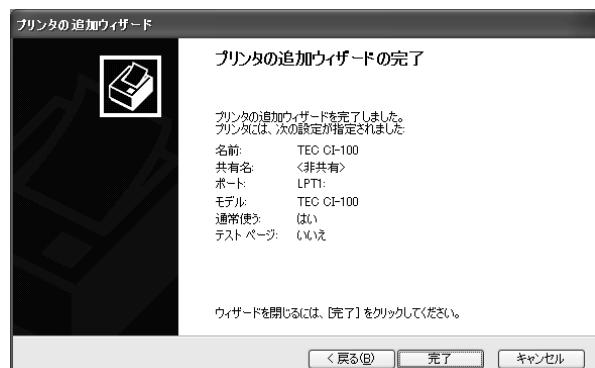
14 [いいえ(O)]を選択し、【次へ(N)>】をクリックします。

お願い

- ・ テストページは行わないでください。正しく印刷の設定をしてからでないと、プリンタの状態によっては印刷できずにエラーになることがあります。



15 【完了】をクリックします。



16 右のメッセージが表示されたら、【続行(C)】をクリックして、インストールを続行します。



17 必要なファイルをWindowsにコピーし、インストールを完了します。

追加したプリンタは、Windowsの[プリンタとFAX]フォルダに表示されます。【スタート】ボタンをクリックし、[プリンタとFAX(P)]を選択して、[プリンタとFAX]フォルダを開いてプリンタが追加されているかどうかを確認してください。

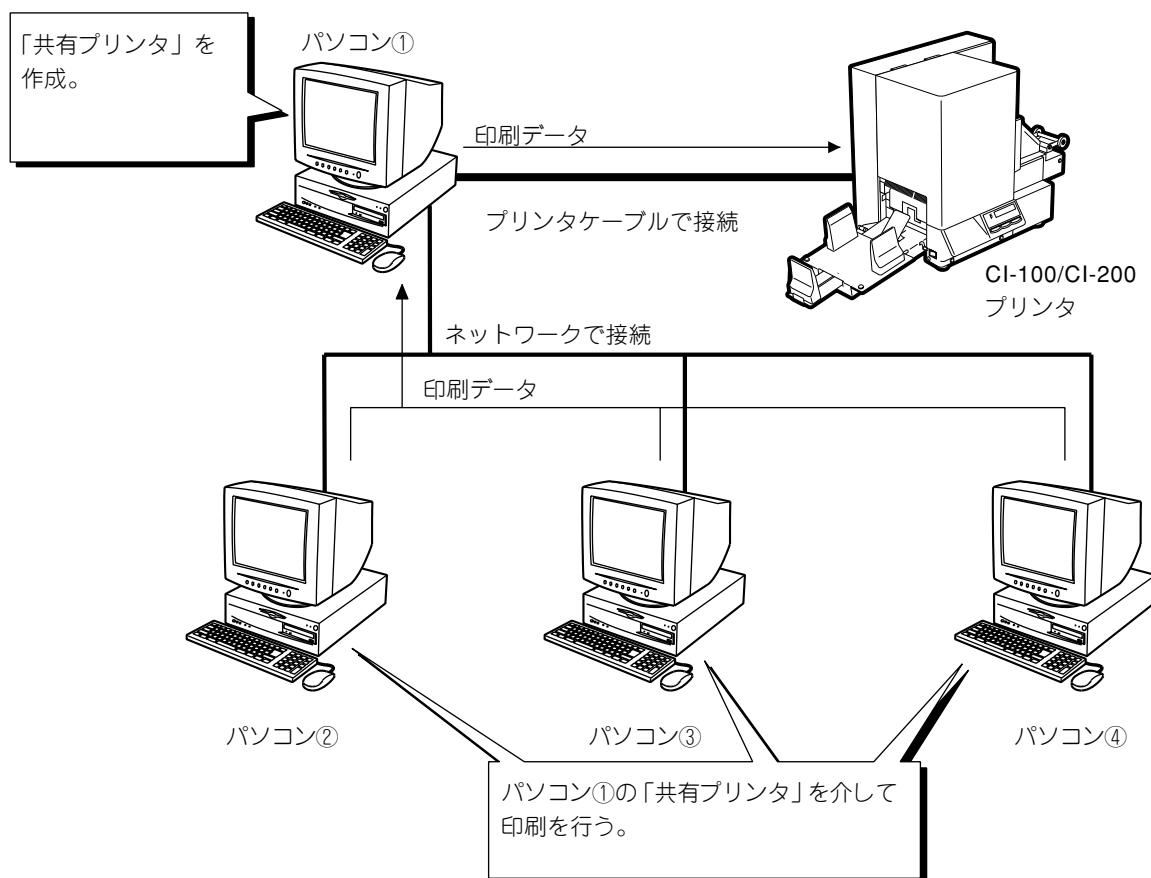


ネットワークでプリンタを使う

本機を接続しているパソコンが、その他のパソコンとネットワークで接続されている場合は、その他のパソコンから本機を接続しているパソコンを経由して印刷することもできます。

ネットワークで本機を使いたい場合は、本機が接続されているパソコン（例：パソコン①）にインストールしたプリンタドライバを、「共有プリンタ」として設定します。

「共有プリンタ」として設定されたプリンタは、ネットワークプリンタとして使用することができるようになります。それぞれのネットワーク上のパソコン（例：パソコン②、パソコン③、パソコン④）は、「共有プリンタ」を経由して、本機で印刷するようになります。



本機が接続されているパソコン（例：パソコン①）のプリンタドライバを共有プリンタに設定するには、[プリンタ] フォルダを開き、[ファイル] メニューの [共有] を選択します。

その他のネットワーク上のパソコンにプリンタドライバをインストールするには、Windows の [ネットワークコンピュータ] から共有プリンタを作成したパソコンを開き、表示されているプリンタキーをダブルクリックしてインストールします。または、[プリンタの追加ウィザード] から共有プリンタを印刷先のポートとしてプリンタドライバをインストールします。

詳しい設定方法や説明については、Windows のヘルプまたは取扱説明書を参照してください。Windows のヘルプは、【スタート】ボタンをクリックし、[ヘルプ] を選択すると表示することができます。

該当する説明が見つけられない場合は、ヘルプの検索ボックスで「共有プリンタ」や「ネットワークプリンタ」などを入力して検索すると、すばやく目的の説明を参照することができます。

プリンタドライバをアンインストールする

お願い

- ・ プリンタドライバをアンインストールすると、登録した用紙の設定も削除されます。

登録した用紙情報を後で使用したい場合は、アンインストールを行う前に、用紙情報をファイルに保存してください。保存した用紙情報をファイルは、用紙設定ツールで読み込むことができます。用紙情報の保存（エクスポート）および読み込み（インポート）の操作のしかたについては、用紙設定ツールのヘルプを参照してください。

1 【スタート】ボタンをクリックし、【設定(S)】-[プリンタ(P)]を選択します。

[プリンタ]フォルダが開きます。

補足

- ・ Windows XPをお使いの場合は、【スタート】ボタンをクリックし、[プリンタとFAX (P)]を選択して、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。

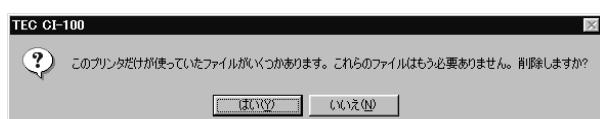
2 CI-100またはCI-200プリンタを選択し、キーボードの【Delete】キーを押します。



3 【はい(Y)】をクリックします。



4 【はい(Y)】をクリックします。
プリンタドライバをアンインストールします。



印刷までの手順

ここでは、本機を使って印刷するまでの基本的な手順を説明します。

印刷する手順は、大きく3つの手順に分けることができます。

手順1：新規用紙を作成する

手順2：カラー設定を行う

手順3：印刷データを作成・印刷する

手順1：新規用紙を作成する

プリンタドライバに登録されていない特殊なサイズや種類の用紙に印刷する場合は、新規に用紙情報を作成します。用紙情報の作成は、プリンタドライバの用紙設定ツールを使って行います。

用紙情報では、用紙サイズや余白の設定の他、印字位置の微調整や、印字濃度の設定、使用するリボンの仕様に合わせて種別の設定や駆動電圧の微調整などを設定します。

新規用紙の作成は、以下の手順で行います。

- ① 用紙設定ツールを起動します。➡『P.47』
- ② 新規用紙を作成します。➡『P.55』
- ③ 作成した用紙の詳細を設定します。➡『P.57』

手順2：カラー設定を行う

新しい用紙の作成を完了したら、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスで、カラー設定を行います。

補足

- CI-100/200 プリンタで作成した印刷データを印刷するときは、カラー設定で指定した色と一致する内容だけを印刷します。例えば、カラー設定で赤（R：255、G：0、B：0）を設定すると印刷データの赤（R：255、G：0、B：0）以外の色を使っている内容は印刷されません。印刷データを作成する前に、事前にカラー設定で使用する色を指定してから、印刷データの作成または印刷を行ってください。

- 1** 【スタート】ボタンをクリックし、[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択します。
[プリンタ]フォルダが開きます。

補足

- Windows XPをお使いの場合は、【スタート】ボタンをクリックし、[プリンタとFAX (P)]を選択して、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。



2 [カラー設定]タブを表示し、カラー設定に関する各条件を設定します。

ダイアログボックス上の各設定項目の説明については、[カラー設定]タブの設定の説明を参照してください。➡『P.39』

3 【OK】をクリックし、設定を保存します。



手順3: 印刷データを作成・印刷する

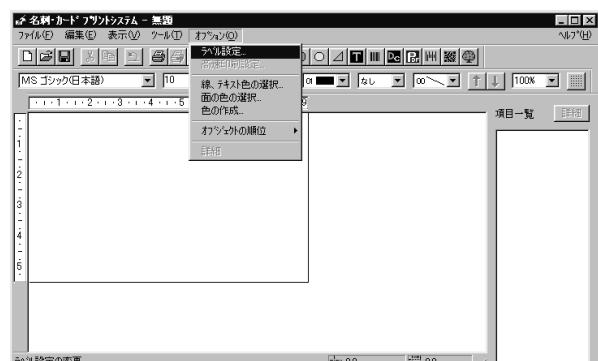
使用する用紙の作成、プリンタプロパティの印刷設定が完了したら、名刺やはがきなど、印刷するデータを Windows アプリケーションで作成します。CI-100 または CI-200 で印刷するには、データを作成する際に、いくつかの注意点があります。

ここでは、付属の CD-ROM に収納されている「名刺・カードプリントシステム Lite」を例に説明します。

1 「名刺・カードプリントシステム Lite」を起動します。

2 [オプション(O)]メニューをクリックし、[ラベル設定...]を選択します。

[ラベル設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 3** 【プリンタ設定】をクリックします。
【プリンタの設定】ダイアログボックスが表示されます。



- 4** 【名前(N)】ボックスで【TEC CI-100】または【TEC CI-200】を選択し、【プロパティ(P)】をクリックします。

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。

補足

- 使用するプリンタドライバを事前に選択するダイアログボックスはすべてのWindowsアプリケーションにあるわけではありません。また、アプリケーションによって表示のしかたなどが異なります。

- 5** 【印刷設定】タブを表示し、【用紙名】ボックスで作成した用紙の名前を選択します。

ダイアログボックス上の各設定項目の説明については、【印刷設定】タブの設定の説明を参照してください。 ➡『P.33』



6 [印刷品質] タブを表示し、印刷品質に関する各条件を設定します。

ダイアログボックス上の各設定項目の説明については、[印刷品質] タブの設定の説明を参照してください。 ➡『P.36』



7 【OK】をクリックし、設定を保存します。

[プリンタの設定] ダイアログボックスに戻ります。

8 【OK】をクリックして、[プリンタの設定] ダイアログボックスを閉じます。

[ラベル設定] ダイアログボックスに戻ります。



9 用紙サイズに合わせて、[ラベル] の [幅] や [高さ] を入力し、【OK】をクリックします。

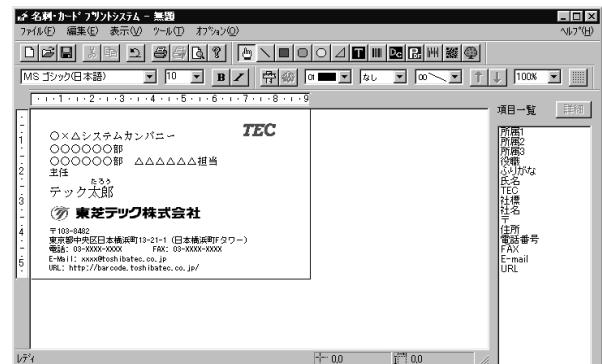


10 印刷するデータを作成します。

「名刺・カードプリントシステム Lite」でのデータの作成方法については、スタートアップCD-ROMから、操作マニュアルを参照してください。



- Windows アプリケーションでデータを作成するときは、プリンタドライバの【カラー設定】タブで指定した色以外は使用しないでください。【カラー設定】タブで指定した色以外は印刷されません。
→『P.41 (プリンタドライバとアプリケーションのカラー設定について)』



11 [ファイル(F)]メニューをクリックし、[印刷(P)]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



12 必要に応じて[印刷範囲]や[印刷部数]を設定し、[OK]をクリックします。

印刷を行います。

補足

- 印刷する用紙の材質や種類などによって、微調整が必要になることがあります。印字がかすれてしまったり、位置がずれたりする場合は、「困ったときは」を参照して、微調整を行ってください。

→『P.70』



プリンタプロパティの設定

ここでは、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスの設定と各画面の設定項目について説明します。

プリンタプロパティの表示のしかた

プリンタプロパティを表示する方法は、次の2通りの方法があります。プロパティを表示させる方法によって、設定の適用方法や表示されるタブが異なります。

● 印刷の初期値を設定する

[プリンタ] フォルダ (Windows XPでは [プリンタとFAX] フォルダ) からプリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示した場合には、プリンタプロパティの初期値の設定になります。

以下の方法でプリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示し、設定を行います。

①【スタート】ボタンをクリックし、[設定 (S)] – [プリンタ (P)] を選択します。

(Windows XPの場合は、【スタート】ボタンをクリックし、[プリンタとFAX (P)] を選択します。)

② [TEC CI-100] または [TEC CI-200] プリンタアイコンを選択し、[ファイル (F)] メニューの [プロパティ (R)] を選択します。

(Windows NT 4.0 の場合は、[ファイル (F)] メニューの [ドキュメントの既定値 (L)] を選択します。)

(Windows 2000 または Windows XP の場合は、[ファイル (F)] メニューの [印刷設定 (T)] を選択します。)

補足

- Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XPをお使いのとき、用紙設定を表示したい場合は、[ファイル (F)] メニューの [プロパティ (R)] を選択します。

● 現在の印刷のみに設定する

Windows アプリケーションの [印刷] ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示した場合には、これから行う印刷のみに適用される設定になります。この方法で設定した場合は、アプリケーションを閉じると設定は破棄されます。

以下の方法でプリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示し、設定を行います。

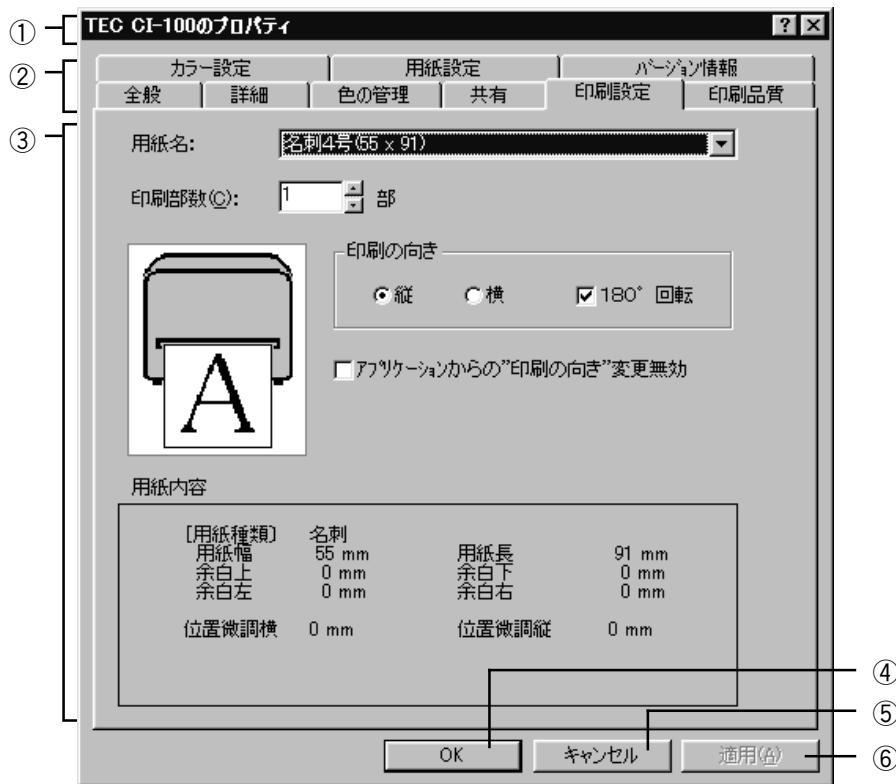
① Windows アプリケーションの [ファイル (F)] メニューをクリックし、[印刷 (P)] を選択します。[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

② [プリンタ名] ボックスで [TEC CI-100] または [TEC CI-200] を選択し、[プロパティ (P)] をクリックします。

補足

- Windows アプリケーションからプリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示する方法は、お使いのアプリケーションによって異なることがあります。

画面の見かた



① プリンタ名

インストールしたときに設定したプリンタドライバの名前を表示します。

② 項目タブ

プリンタドライバの設定メニューをタブで表示します。クリックすると、選択したタブ別の設定内容が表示されます。

補足

- 表示されるタブは表示のしかたによって異なります。[印刷設定]、[印刷品質]、[カラー設定]、[用紙設定]、[バージョン情報] 以外のタブは、Windows の機能に関わる設定を行うタブです。表示されるタブは、Windows バージョンによって異なります。詳細は、Windows の取扱説明書またはヘルプを参照してください。

③ 設定内容

選択した項目タブの設定内容が表示されます。詳しくは、次のページからの各タブ別の説明を参照してください。

④ 【OK】

入力した設定を保存し、プリンタプロパティの設定を終了するときにクリックします。

⑤ 【キャンセル】

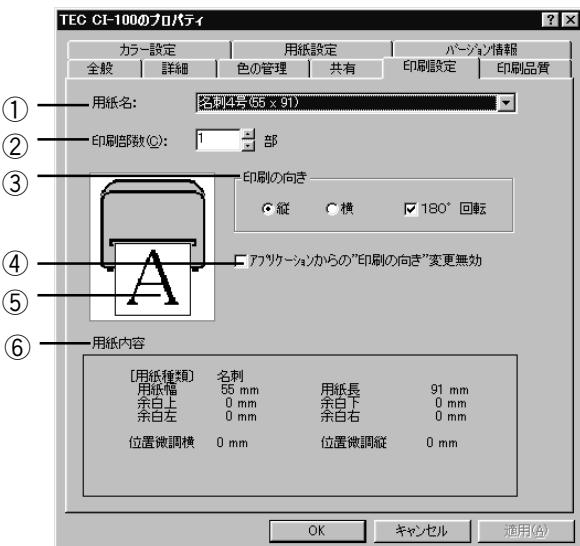
入力した設定をキャンセルし、プリンタプロパティの設定を終了するときにクリックします。

⑥ 【適用 (A)】

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを閉じずに、入力した設定を保存するときにクリックします。

[印刷設定] タブ

[印刷設定] タブでは、印刷する用紙や印刷部数、印刷の向きを設定します。



<アプリケーションから表示した場合>



① 用紙名

印刷に使用する用紙の名前を選択します。

[用紙名] ボックスには、用紙設定ツールで登録されている用紙の名前が表示されます。用紙設定ツールは、[用紙設定] タブから起動することができます。➡『P.46』

② 印刷部数

1~9999の範囲で印刷部数を設定します。直接数値を入力するか、ボックス右端の [スクリューボタン] をクリックして数値を設定することができます。

③ 印刷の向き

印刷する方向を選択します。

● 縦

印刷データを用紙に対して縦向きに印刷します。

● 横

印刷データを用紙に対して横向きに印刷します。

● 180° 回転

印刷データを用紙に対して180°回転して印刷する場合にチェックします。

④ アプリケーションからの”印刷の向き”変更無効

アプリケーションが強制的に変更する印刷の向きを無効にし、プリンタドライバの印刷の向きの設定を適用します。

⑤ プレビュー

設定した内容をイラストで表示します。

⑥ 用紙内容

[用紙名] ボックスで選択した用紙の設定内容を表示します。

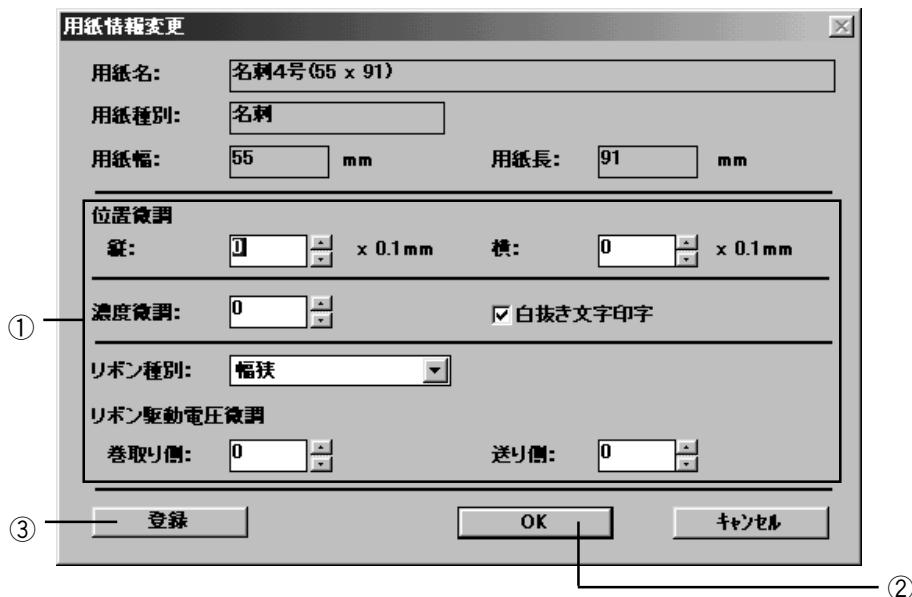
⑦ 【用紙情報変更】

アプリケーションから表示した場合、用紙情報の変更ができます。➡『P.34』

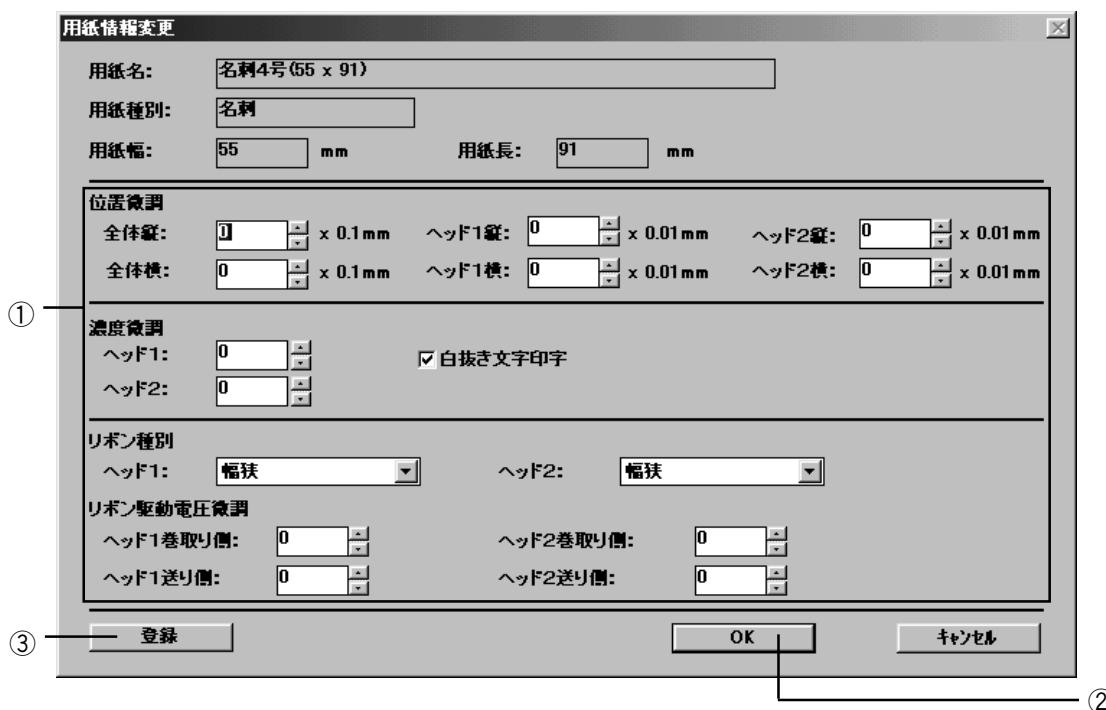
用紙情報変更

アプリケーションから表示した場合、【用紙情報変更】で位置微調、濃度微調、リボン種別、リボン駆動電圧微調が変更できます。

< CI-100 をお使いの場合 >



< CI-200 をお使いの場合 >



① 位置微調／濃度微調／リボン種別／リボン駆動電圧微調

変更する値を設定します。

各項目の詳しい設定内容は、用紙設定ツールの操作方法をご参照ください。➡『P.47』

② 【OK】

変更した用紙情報の内容を一時的に変更します。

一時変更した設定値は作業中のアプリケーション（[印刷設定]プロパティを開いたアプリケーション）からの印刷に反映されます。

アプリケーションを閉じたり、印刷する用紙種類を変更するなど、アプリケーションがプリンタドライバの用紙情報を読み込み直す操作をした場合には、変更された各種微調整値は変更前の値に戻ります。

③ 【登録】

変更した用紙情報の内容を既定値に登録します。

補足

- 用紙設定ツールで用紙情報を変更し、再度登録した場合と同じです。

[印刷品質] タブ

[印刷品質] タブでは、印刷モードやリボンセーブ、中間色の印刷方法など、印刷の品質に関する設定をします。



① 印刷モード

印刷品質を重視して印刷するか、印刷速度を重視して印刷するかを選択します。

● 高速モード

印刷品質より印刷速度を重視して印刷するときに選択します。[高品質モード] に比べ印刷の品質は落ちますが、印刷が速くなります。

● 高品質モード

印刷速度より印刷品質を重視して印刷するときに選択します。[高速モード] に比べ印刷の速度は遅くなりますが、きれいに印刷することができます。

② リボンセーブ

リボンを節約して印刷するかどうかを選択します。

● リボンセーブしない

リボンを節約して印刷しないときに選択します。

● リボンセーブ 1/2/3

リボンを節約して印刷するときに選択します。

補足

- リボンセーブ 1、2、3については、リボンのセーブ量が異なります。

<リボンセーブ 1> —— <リボンセーブ 2> —— <リボンセーブ 3>

(セーブ量) 多い ←————→ 少ない

通常は「リボンセーブ 1」を使用しますが、印字表面が汚れる場合は「リボンセーブ 2」を、表面や端面が汚れる場合は「リボンセーブ 3」を選択してください。

- リボンセーブする条件

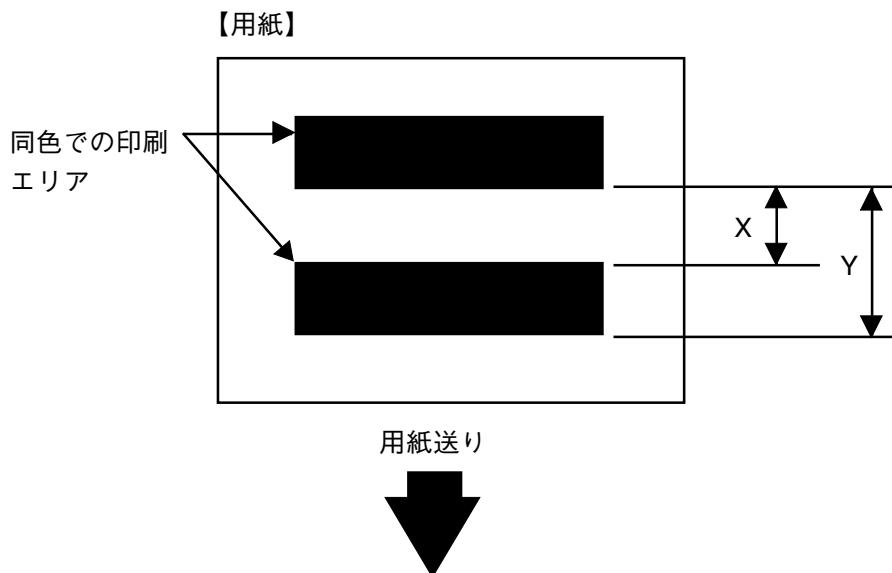
リボンセーブは、実際に印刷するエリアが用紙の送り方向にある値以上データがない場合、ヘッドを上げてリボンを送らないようにしてリボンの節約をします。使用するリボンの種類により、リボンセーブする条件は異なります。また、一度印字動作をした場合は、最低 20 mm はリボンを消費します。

<用紙情報のリボン種類が幅広、幅狭の場合>

リボンセーブする条件： $X > 16 \text{ mm}$ かつ $Y > 36 \text{ mm}$

<用紙情報のリボン種類が幅広メタリック、幅狭メタリック、幅広剥離板、幅狭剥離板の場合>

リボンセーブする条件： $X > 27 \text{ mm}$ かつ $Y > 47 \text{ mm}$



- リボンの種類

実際に装着しているリボンの種類（標準／メタリック／スクラッチ）、リボン幅、剥離板装着の条件と、用紙設定ツールで用紙毎に設定するリボンの種類との関係は以下のとおりです。

リボン種類	標準				メタリック				スクラッチ			
リボン幅	68mm		109mm		68mm		109mm		68mm		109mm	
剥離板装着	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有
設定値	幅狭 剥離板	幅狭 剥離板	幅広 剥離板	幅広 剥離板	-	幅狭 メタリック	-	幅広 メタリック	幅狭	-	幅広	-

③ 中間色パターン

中間色で描かれたグラフィックの印刷品質を選択します。

● 粗い

中間色を通常印刷します。

● 細かい

中間色をより細密に印刷します。

補足

- 中間色パターンの設定は、[カラー設定] タブの [描画方式] ボックスで [グレースケール] (CI-100 使用時)、または [グレースケール + 未使用] [指定色 + グレースケール] (CI-200 使用時) が選択されている場合のみ有効になります。

④ 転送モード

複数ページの印刷データをプリンタに送るときの送信方法を選択します。

● 標準モード

ページごとに圧縮した印刷データをプリンタに送信します。通常はこのモードを選択します。

● 可変データモード

前ページの印刷データと比較し、違う部分のみの印刷データを圧縮してプリンタに送信します。すべてのページが同じフォーマットで作成されており、部分的に違うデータを印刷する場合にプリンタに送信するデータの容量を少なくすることができます。

⑤ 色調整

中間色で描かれたグラフィックの明るさやコントラストを設定します。

● 明るさ

グラフィックの明るさを指定します。設定値が大きいほど、グラフィックが明るく印刷されます。スクロールボックスの右側に設定した値が数値で表示されます。-100～100の範囲で1単位ごとに設定することができます。

● コントラスト

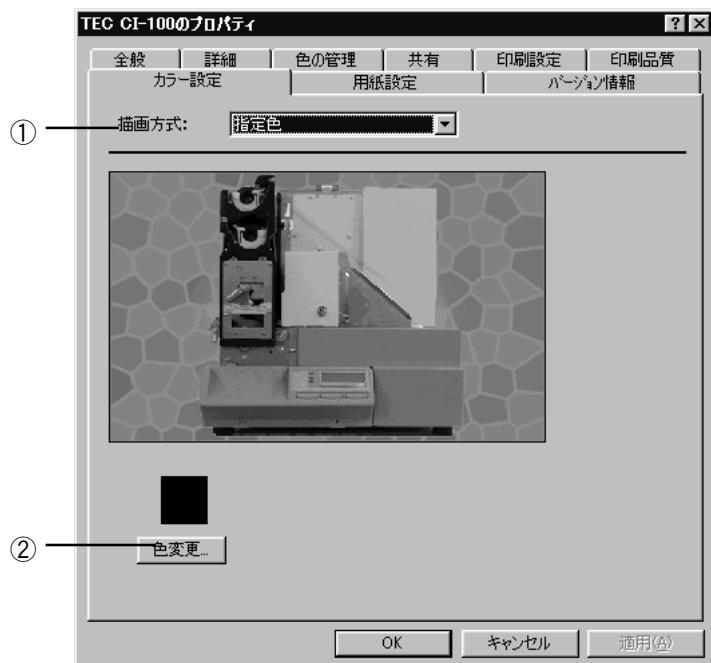
グラフィックのコントラストを指定します。設定値が大きいほど、グラフィックの白の黒の違いがはっきりと印刷されます。スクロールボックスの右側に設定した値が数値で表示されます。-100～100の範囲で1単位ごとに設定することができます。

[カラー設定] タブ

[カラー設定] タブでは、描画方式と印刷に使用する色を設定します。

[カラー設定] タブは、CI-100をお使いの場合と、CI-200をお使いの場合で異なります。

CI-100をお使いの場合



① 描画方式

印刷データの内容をグレースケールで印刷するのか、指定した色のみの内容を印刷するのかを選択します。

● 指定色

指定した色で描かれた内容だけを印刷します。これをを選択した場合は、【色変更...】をクリックして色を選択します。

● グレースケール

印刷データをグレースケールに変換して印刷します。

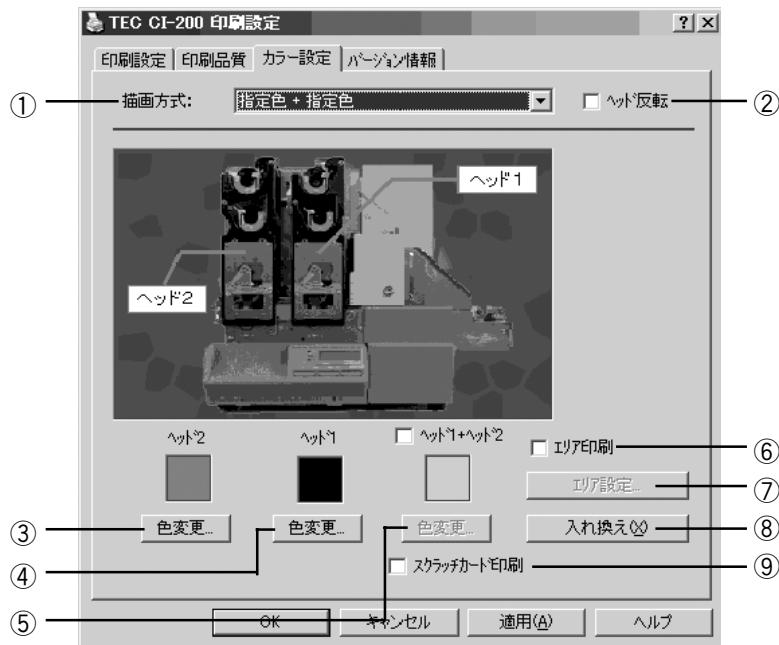
② 【色変更 ...】

[描画方式] ボックスで [指定色] を選択した場合に、印刷する内容の色を選択します。

ここで指定した色と一致する色の内容のみ本機で印刷します。➡『P.44 (プリンタドライバとアプリケーションのカラー設定について)』

クリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示されるので、色を選択し [OK] をクリックします。

CI-200 をお使いの場合



① 描画方式

本機の第1印字ヘッドと第2印字ヘッドそれぞれで印刷データの内容をグレースケールで印刷するのか、指定した色のみの内容を印刷するのかなどの組み合わせを選択します。

● 指定色 + 指定色

第1印字ヘッドと第2印字ヘッドそれぞれに指定した色で描かれた内容だけを印刷します。これを選択した場合は、[ヘッド2] [ヘッド1] それぞれの【色変更...】をクリックして色を選択します。

● 指定色 + 未使用

第1印字ヘッドのみを使って、[ヘッド1] で指定した色で描かれた内容だけを印刷します。これを選択した場合は、[ヘッド1] の【色変更...】をクリックして色を選択します。

● グレースケール + 未使用

印刷データをグレースケールに変換して、第1印字ヘッドのみを使って印刷します。

● 指定色 + グレースケール

第1印字ヘッドで [ヘッド1] で指定した色で描かれた内容だけを印刷し、第2印字ヘッドで [ヘッド1] で指定された色以外のすべての内容をグレースケールに変換して印刷します。これを選択した場合は、[ヘッド1] の【色変更...】をクリックして色を選択します。

● 指定色 + その他の色

第1印字ヘッドで [ヘッド1] で指定した色で描かれた内容だけを印刷し、第2印字ヘッドで [ヘッド1] で指定された色以外のすべての内容を印刷する場合に選択します。これを選択した場合は、[ヘッド1] の【色変更...】をクリックして色を選択します。

補足

- 描画方式を「指定色+グレースケール」に指定して、写真、絵などをグレースケールで印刷し、文字のみを指定色で印刷しようとした場合、写真、絵等の中に指定色が含まれていると、その部分は指定色で印刷されてしまいます。従って、フルカラーの画像は「指定色+グレースケール」では印刷できません。指定色を含まない画像が対象となります。

② ヘッド反転

チェックすると、第1印字ヘッドと第2印字ヘッドの描画方式を入れ換えます。ただし、[描画方式] ボックスで [指定色 + 指定色] を選択している場合は指定色が入れ換わります。

例) ●チェックしていないとき

描画方式 : [指定色 + 未使用] = 第1印字ヘッドで [ヘッド1] で指定した色の内容を印字
第2印字ヘッドは未使用

●チェックした場合

描画方式 : [指定色 + 未使用] = 第1印字ヘッドは未使用
第2印字ヘッドで [ヘッド2] で指定した色の内容を印字

③ ヘッド2

第2印字ヘッドで印刷する内容の色を選択します。

ここで指定した色と一致する色の内容のみ、本機の第2印字ヘッドで印刷します。➡『P.44 (プリンタドライバとアプリケーションのカラー設定について)』

色を変更する場合は、【色変更...】をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示されるので、色を選択し 【OK】 をクリックします。

以下の設定時のみ設定できます。

- 描画方式 : [指定色 + 指定色] ヘッド反転 : オン／オフ
- 描画方式 : [指定色 + 未使用] ヘッド反転 : オン
- 描画方式 : [指定色 + グレースケール] ヘッド反転 : オン
- 描画方式 : [指定色 + その他の色] ヘッド反転 : オン

④ ヘッド1

第1印字ヘッドで印刷する内容の色を選択します。

ここで指定した色と一致する色の内容のみ、本機の第2印字ヘッドで印刷します。➡『P.44 (プリンタドライバとアプリケーションのカラー設定について)』

色を変更する場合は、【色変更...】をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示されるので、色を選択し 【OK】 をクリックします。

以下の設定時のみ設定できます。

- 描画方式 : [指定色 + 指定色] ヘッド反転 : オン／オフ
- 描画方式 : [指定色 + 未使用] ヘッド反転 : オフ
- 描画方式 : [指定色 + グレースケール] ヘッド反転 : オフ
- 描画方式 : [指定色 + その他の色] ヘッド反転 : オフ

⑤ ヘッド1+ヘッド2

第1印字ヘッドと第2印字ヘッド両方で印刷する内容の色を指定する場合にチェックします。

色を変更する場合は、【色変更...】をクリックすると [色の設定] ダイアログボックスが表示されるので、色を選択し 【OK】 をクリックします。

以下の設定時のみ設定できます。

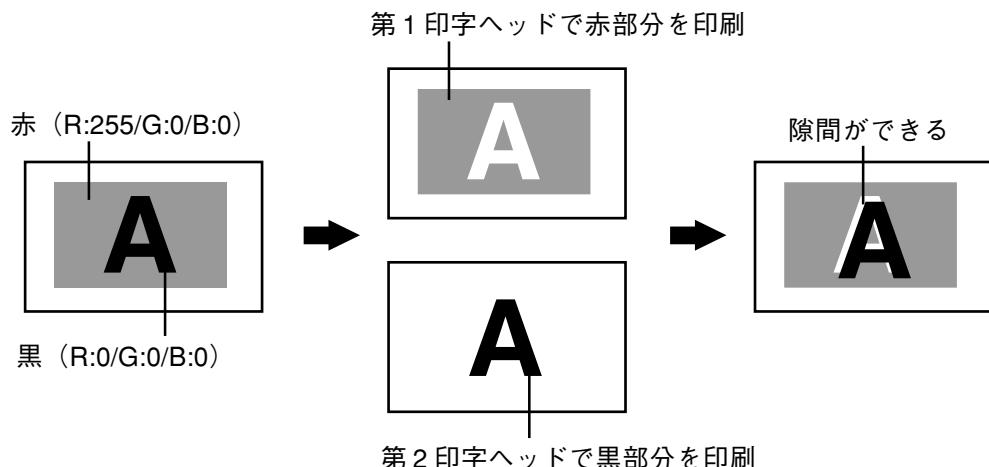
- 描画方式 : [指定色 + 指定色] ヘッド反転 : オン／オフ
- 描画方式 : [指定色 + グレースケール] ヘッド反転 : オフ
- 描画方式 : [指定色 + その他の色] ヘッド反転 : オフ

この項目は、異なる色の境界に隙間ができるないように印刷する場合などに使用します。詳しい説明については、「色の境界線を塗りつぶす」(➡『P.42』) を参照してください。

色の境界線を塗りつぶす

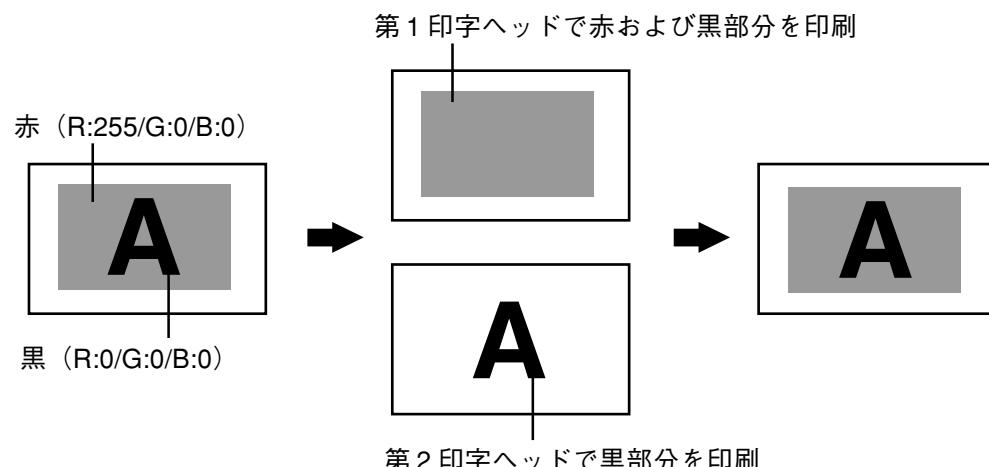
下記のような塗りつぶされた背景の上に、その他の色がのっている印刷データを印刷すると、それぞれの色は異なるヘッドで印刷されるので微妙に位置がずれ、隙間ができることがあります。

- 描画方式：[指定色 + 指定色] ヘッド1：赤 ヘッド2：黒 ヘッド1+ヘッド2：オフ



このような場合、[ヘッド1+ヘッド2] をチェックし、[ヘッド1+ヘッド2] の色に黒（R:0/G:0/B:0）を指定すると、「A」の部分も第1印字ヘッドで印字するようになるので、隙間を埋めることができます。

- 描画方式：[指定色 + 指定色] ヘッド1：赤 ヘッド2：黒 ヘッド1+ヘッド2：オン／黒



お願い

- 本機では、常に第1印字ヘッドで先に印刷を行い次に第2印字ヘッドで印刷します。上記のように色の境界線を塗りつぶすように [ヘッド1+ヘッド2] 設定を使って印刷する場合、必ず背景側の色を第1印字ヘッドで先に印字するように設定する必要があります。

⑥ エリア印刷

メタリックカラーリボンを使って印刷する場合にチェックします。チェックした場合は、第1印字ヘッドで印刷する下地の範囲を【エリア設定...】をクリックして指定します。

詳しい説明については、「メタリックカラーリボン使用時の印刷方法」を参照してください。

⑦ 【エリア設定...】

[エリア印刷] をチェックしたときに、第1印字ヘッドで印刷する下地の範囲を指定します。詳しい説明については、「メタリックカラーリボン使用時の印刷方法」を参照してください。

クリックすると、[印刷エリア設定] ダイアログボックスが表示されます。



● 左上横

用紙の左端から下地を印刷する範囲の左端までの横距離を、0～299の数値で入力します。

● 左上縦

用紙の上端から下地を印刷する範囲の上端までの縦距離を、0～299の数値で入力します。

● 横幅

下地を印刷する範囲の横幅を、1～300の数値で入力します。

● 縦幅

下地を印刷する範囲の縦幅を、1～300の数値で入力します。

補足

- 印刷エリアは用紙の左端および上端から300mmを超える範囲に設定することはできません。

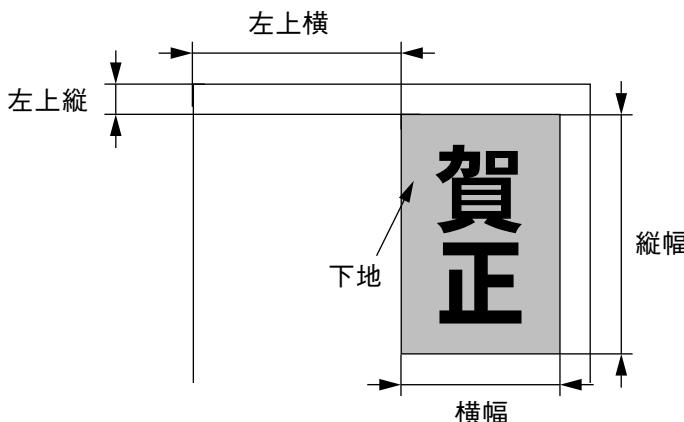
$$1\text{mm} \leq \text{左上横} + \text{横幅} \leq 300\text{mm}$$

$$1\text{mm} \leq \text{左上縦} + \text{縦幅} \leq 300\text{mm}$$

メタリックカラーリボン使用時の印刷方法

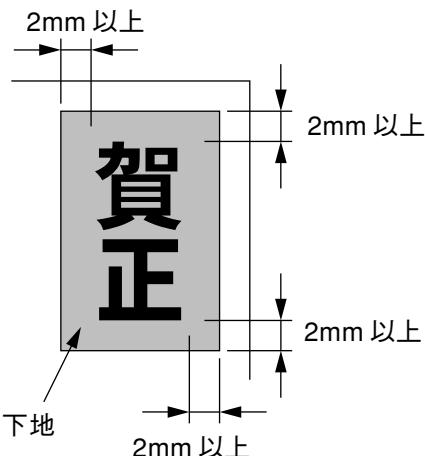
メタリックカラーのリボンで印刷する場合は、[エリア印刷] 設定を使って先に下地を印字し、その上にメタリックカラー部分を印刷する必要があります。

例えば、下図のように「賀正」という文字をメタリックカラーのリボンで印字したい場合は、「賀正」という文字の下に印字する下地部分を [エリア印刷] 設定で指定します。



お願い

- 下地の印刷領域は、メタリック印刷部の周囲より2mm以上広く作成してください。



- 本機では、常に第1印字ヘッドで先に印刷を行い、次に第2印字ヘッドで印刷します。上記のようにメタリックカラーのリボンで【ヘッド1+ヘッド2】設定を使って印刷する場合、必ず下地の色を第1印字ヘッドに装着し、第2印字ヘッドにメタリックカラーのリボンを装着してください。

⑧【入れ換え(X)】

[ヘッド1]と[ヘッド2]の指定色を入れ替えます。

[描画方式]ボックスで[指定色+指定色]を選択しているときのみクリックすることができます。

プリンタドライバとアプリケーションのカラー設定について

[カラー設定]タブで指定する色は、必ずしも本機に実際に装着されているリボンの色を指定する必要はありませんが、実際に印刷するデータで使用されている色と完全に一致している必要があります。本機では印刷データの色の設定と、ここで設定した色が一致する内容のみ印刷します。

本プリンタドライバでは、RGB色を使って色を指定します。Windowsアプリケーションで印刷データを作成するときも、プリンタドライバの[カラー設定]タブの設定と色が完全に一致するように、RGB色で色を指定してください。

⑨スクラッチカード印刷

スクラッチカードを印刷する場合にチェックします。

スクラッチカードを印刷するには、当社純正の専用リボンと感熱紙をお使いください。

スクラッチカード印刷の詳しい説明については、「スクラッチカードの印刷方法」を参照ください。

補足

- [スクラッチカード印刷]を指定した場合、[ヘッド1+ヘッド2]も[スクラッチカード印刷]の指定と連動して自動的に指定されます。
- [スクラッチカード印刷]を指定した場合、次の用紙情報は実際の印刷時に無視されます。
(用紙情報としては用紙設定ツールで設定可能)
 - リボン種別 ヘッド1
 - リボン駆動電圧微調 ヘッド1巻取り側
 - リボン駆動電圧微調 ヘッド1送り側

スクラッチカードの印刷方法

スクラッチカードの印刷に関する各種設定について説明します。

〈リボンのセット方法〉

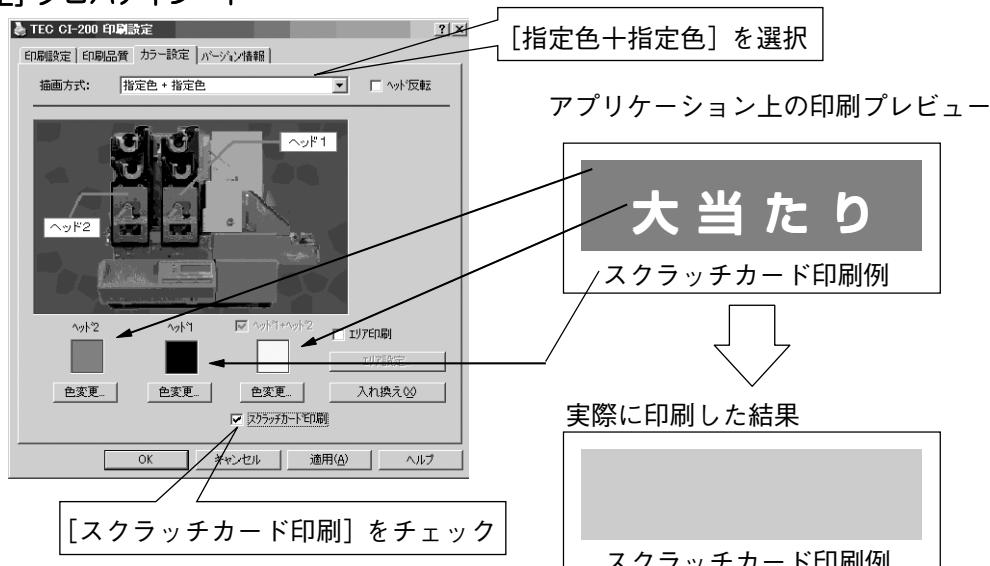
- ① リボンモジュールにスクラッチ印刷専用リボンを取り付け、ヘッド2にセットします。
- ② ヘッド1は感熱印刷となります。リボンモジュールはセットしてください。ただし、リボンは絶対に装着しないでください。

〈プリンタドライバの設定〉

[カラー設定] プロパティシート

- ① 描画方式は [指定色 + 指定色] を選択します。
- ② [スクラッチカード印刷] をチェックします。
- ③ 【色変更】をクリックし、各ヘッドで印刷する色を選択します。
ヘッド1：スクラッチ（削る部分）と無関係なフィールドの色を選択します。
ヘッド2：スクラッチ（削る部分）の色を選択します。
ヘッド1+ヘッド2：スクラッチ（削る部分）で隠れるオブジェクトの色を選択します。

[カラー設定] プロパティシート



〈用紙情報の設定〉

- ① 濃度微調
スクラッチカード印刷時は、ヘッド1およびヘッド2の濃度微調を設定してください。
- ② リボン種別（ヘッド2）
スクラッチカード印刷時は、ヘッド2のリボン種類を使用するリボン幅により、[幅狭] または [幅広] に指定してください。

リボン種類	スクラッチ			
リボン幅	6.8 mm		10.9 mm	
剥離板装着	無	有	無	有
リボン種類の設定	幅狭	—	幅広	—

* スクラッチカード印刷時の [リボン種別 ヘッド1] および [リボン駆動電圧微調 ヘッド1] の指定は無視されます。

③ 白抜き文字印字

ヘッド1による印刷において、太字や図形の塗つぶし（黒ベタで印刷する箇所）がムラに印刷される場合は、[白抜き文字印字]のチェックを外すと回避することができます。

他の用紙情報については、通常印刷時と同様に設定してください。

[用紙設定] タブ

補足

- 【用紙設定】タブは、アプリケーションから表示した場合は表示されません。【用紙設定】タブを表示したい場合は、[プリンタ] フォルダでプリンタを選択し、[ファイル (F)] メニューの [プロパティ (R)] を選択します。



①【用紙設定】

用紙設定ツールを起動します。➡『P.47』

用紙設定ツールの操作方法

用紙設定ツールは、任意の用紙サイズや印刷の用途にわけた用紙情報を登録するためのツールです。用紙設定ツールで登録した用紙情報は、プリンタドライバの【印刷設定】タブにある【用紙名】ボックスで選択し、印刷に使用することができます。

用紙設定ツールには、主に次のような機能があります。

● 用紙登録

任意サイズの用紙の登録、編集、削除を操作することができます。

● 用紙リスト表示

現在登録されている用紙の一覧を表示することができます。

● イメージ編集

登録されている用紙を使って簡単なイメージを作成し、印刷することができます。また、イメージ編集では、印字位置調整用パターンを印刷することができます。

ここで説明していない機能やさらに詳しい使い方については、用紙設定ツールのヘルプを参照してください。

お願い

- 用紙設定は、アプリケーションを閉じた状態で行ってください。

アプリケーションを起動したまま用紙設定ツールを起動して用紙登録／編集を行うと、変更した内容が反映されなかったり、アプリケーションで印刷用に指定した用紙が、プリンタの既定値として指定した用紙に戻ることがあります。

用紙設定ツールを起動する

用紙設定ツールは以下の手順で起動します。

ここでは、Windows 98 での操作を例に説明します。

- 1 【スタート】ボタンをクリックし、[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択します。

[プリンタ] フォルダが開きます。

補足

- Windows XPをお使いの場合は、【スタート】ボタンをクリックし、[プリンタとFAX (P)]を選択して、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。

2 CI-100またはCI-200プリンタを選択し、[ファイル(F)]メニューをクリックして[プロパティ(R)]を選択します。

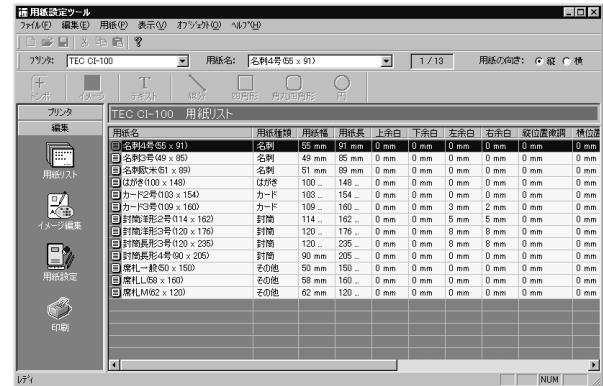
プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。



3 [用紙設定]タブを表示し、[用紙設定]をクリックします。



4 用紙設定ツールを起動します。



画面の見たた



① コマンドメニューバー

用紙設定ツールのさまざまな機能を操作するときに使用します。➡『P.51』

② 標準ツールバー

よく使う基本的な機能をツールバー上のアイコンをクリックしてすぐ操作することができます。

③ 用紙ツールバー

用紙設定ツールが現在対象としているプリンタドライバや選択している用紙を表示します。

● プリンタ

用紙設定ツールが現在対象としているプリンタドライバの名前を表示します。複数のCI-100またはCI-200用のプリンタドライバをパソコンにインストールしている場合は、ボックス右端の[▼]をクリックして、対象とするプリンタドライバを切り換えて、プリンタドライバごとに用紙情報を管理することができます。

お願い

- 複数のCI-100またはCI-200プリンタをインストールしている場合、用紙設定ツール起動時に対象としているプリンタドライバは、[用紙設定]タブの【用紙設定】をクリックしたときに選択していたプリンタドライバとは限りません。操作前には、必ず用紙設定ツールが現在対象としているプリンタを確認してください。

● 用紙名

現在選択している用紙情報の名前が表示されます。ボックス右端の [▼] をクリックして、選択する用紙設定を切り換えることができます。また、[用紙名] ボックスの横に、現在選択している用紙のリスト番号と登録されている用紙すべての数が表示されます。

● 用紙の向き

イメージ編集画面で操作しているときに、イメージの用紙の向きを [縦] または [横] に切り換えます。

④ オブジェクト挿入ツールバー

イメージ編集画面で操作しているときに、画像や図形、テキストなどのオブジェクトを挿入するときに使用します。

⑤ アクセスバー

表示する内容を切り換えたり、特殊な機能を操作するためのアイコンを表示します。[プリンタ] または [編集] をクリックして、アクセスバーに表示するアイコンを切り換えることができます。

● プリンタ

パソコンにインストールされているプリンタドライバのアイコンを表示します。表示されたプリンタドライバのアイコンをクリックすると、現在対象としているプリンタドライバを切り換えます。

● 編集

[用紙リスト] をクリックすると、用紙リスト画面を表示します。

[イメージ編集] をクリックすると、イメージ編集画面を表示します。

[用紙設定] をクリックすると、選択している用紙情報を編集するダイアログボックスを表示します。

[印刷] をクリックすると、イメージ編集画面で作成したイメージを印刷します。イメージ編集画面で操作しているときだけ使用することができます。

⑥ 内容

用紙リスト画面またはイメージ編集画面の内容を表示します。表示内容の切り換えは、アクセスバーの [用紙リスト] アイコンまたは [イメージ編集] アイコンをクリックして切り換えることができます。

⑦ ステータスバー

現在対象としているプリンタドライバのステータスまたは現在選択しているコマンドメニューの説明を表示します。

コマンドメニューの機能

用紙設定ツールのコマンドメニューと機能を説明します。

操作できるメニューは、用紙リスト画面またはイメージ編集画面のどちらを表示しているかによって異なります。

用紙リスト画面表示時

用紙リスト画面を表示しているときのコマンドメニューの機能は次のとおりです。

ファイル	新規作成	無効
	開く	無効
	上書き保存	無効
	名前を付けて保存	無効
	用紙情報のインポート	用紙情報のファイルを読み込みます。
	用紙情報のエクスポート	用紙情報をファイルに保存します。
	印刷	無効
	印刷プレビュー	無効
	プリンタの設定	無効
	最近使ったファイル	無効
	アプリケーションの終了	用紙設定ツールを終了します。
編集	切り取り	無効
	コピー	無効
	貼り付け	無効
用紙	用紙の新規作成	新しい用紙情報を登録します。選択すると、[用紙の作成] ダイアログボックスを表示し、ウィザード方式で新しい用紙情報を登録することができます。
	用紙の編集	現在選択している用紙情報の内容を編集します。選択すると、[用紙] ダイアログボックスを表示します。

表示	ツールバー	標準ボタン	標準ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
	用紙		用紙ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
	オブジェクト挿入		オブジェクト挿入ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
	ステータスバー		ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
	用紙リスト		無効
	イメージ編集		イメージ編集画面に切り替えます。
<hr/>			
オブジェクト挿入	コーナートンボ		無効
	イメージ		無効
	テキスト		無効
図形	線分		無効
	四角形		無効
	角丸四角形		無効
	円／楕円		無効
テキスト編集			無効
拡大／縮小	最大		無効
	幅最大		無効
	長さ最大		無効
前後関係	最前面に移動		無効
	最下面に移動		無効
削除			無効
コーナートンボ設定			無効
プロパティ			無効
<hr/>			
ヘルプ	目次		ヘルプを表示します。
	バージョン表示		バージョン情報を表示します。

イメージ編集画面表示時

イメージ編集画面を表示しているときのコマンドメニューの機能は次のとおりです。

ファイル	新規作成	新しいイメージを作成します。
	開く	以前に用紙設定ツールで作成したイメージファイルを開きます。
	上書き保存	現在編集中のイメージを上書き保存します。
	名前を付けて保存	現在編集中のイメージを別の名前を付けて保存します。
	用紙情報のインポート	無効
	用紙情報のエクスポート	無効
	印刷	現在編集中のイメージを印刷します。
	印刷プレビュー	現在編集中のイメージを印刷した場合のプレビューを表示します。
	プリンタの設定	印刷するプリンタを設定します。
	<最近使ったファイル>	最近使ったファイルを最近のものから最大4つまで表示します。選択すると、そのファイルを開きます。
	アプリケーションの終了	用紙設定ツールを終了します。
編集	切り取り	選択しているオブジェクトを切り取ります。
	コピー	選択しているオブジェクトをコピーします。
	貼り付け	コピーしたオブジェクトを貼り付けます。
用紙	用紙の新規作成	無効
	用紙の編集	現在選択している用紙情報の内容を編集します。選択すると、[用紙] ダイアログボックスを表示します。
表示	ツールバー 標準ボタン	標準ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
	用紙	用紙ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
	オブジェクト挿入	オブジェクト挿入ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
	ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
	用紙リスト	用紙リスト画面に切り替えます。
	イメージ編集	無効

オブジェクト挿入	コーナー-tonbo	コーナー-tonboを挿入します。印字位置調整パターンを印刷するときに使用します。
イメージ		ビットマップイメージを挿入します。
テキスト		テキストを挿入します。
図形	線分	線を描画します。
	四角形	四角形を描画します。
	角丸四角形	角の丸い四角形を描画します。
	円／楕円	円または楕円を描画します。
テキスト編集		選択しているテキストボックスの内容を編集します。テキストボックスを選択時のみ操作することができます。
拡大／縮小	最大	選択しているオブジェクトを用紙いっぱいに拡大します。
	幅最大	選択しているオブジェクトの横幅のみを用紙いっぱいに拡大します。
	長さ最大	選択しているオブジェクトの縦幅のみを用紙いっぱいに拡大します。
前後関係	最前面に移動	選択しているオブジェクトを最前面に移動します。
	最下面に移動	選択しているオブジェクトを最下面に移動します。
削除		選択しているオブジェクトを削除します。
コーナー-tonbo設定		[オブジェクト]メニューの[挿入]—[コーナー-tonbo]で挿入するtonboの設定を編集します。
プロパティ		[オブジェクトのプロパティ]ダイアログボックスを表示します。オブジェクトの座標位置や内容、色の設定などを変更することができます。選択しているオブジェクトによって、設定できる項目は異なります。

ヘルプ	目次	ヘルプを表示します。
	バージョン表示	バージョン情報を表示します。

新しい用紙を作成する

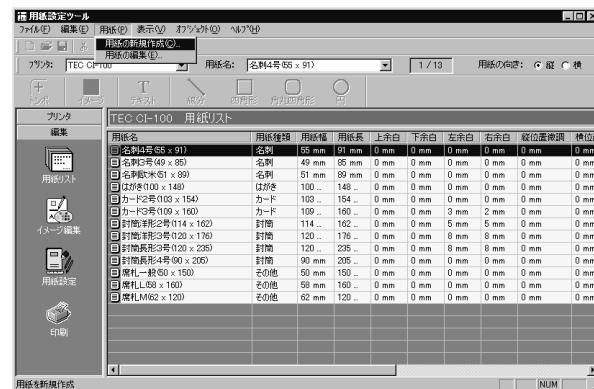
用紙設定ツールには、あらかじめいくつかの用紙情報が登録されていますが、任意のサイズの用紙に印刷したい場合は、新しい用紙情報を用紙設定ツールで登録します。

お願い

- Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP をお使いの場合、新しい用紙情報を作成するには、管理者権限またはシステム変更の権限を持ったユーザー名でログインする必要があります。

1 [用紙(P)]メニューをクリックし、[用紙の新規作成(C)]を選択します。

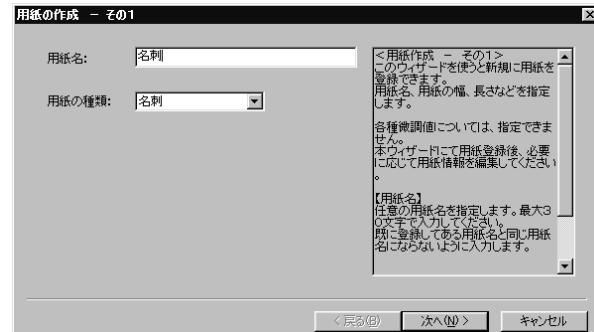
[用紙の作成ーその1] ダイアログボックスが表示されます。



2 [用紙名]ボックスに、新しく作成する用紙の名前を入力し、[用紙の種類]で作成する用紙設定の種類を選択して、【次へ(N)>】をクリックします。

補足

- ・ [用紙名] には、最大30文字の名前を入力できます。
 - ・ [用紙名] には、すでに登録されている用紙と同じ名前を入力することはできません。

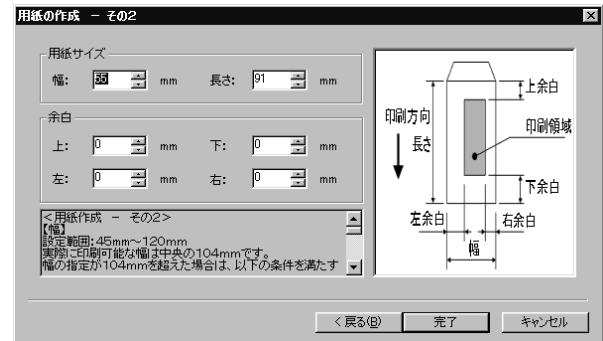
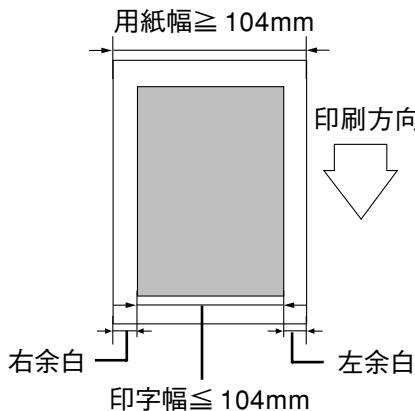


3 [用紙サイズ]で、作成する用紙の幅と長さを入力し、[余白]で上下左右の余白を入力します。

補足

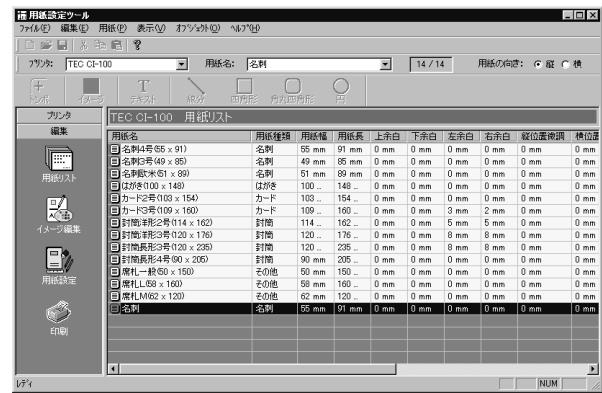
- 本機で印刷できる印字幅は、104mmまでです。幅が104mm以上ある用紙に印刷する場合は、印刷領域の幅が104mm以内に収まるように左右の余白を設定してください。

例： 左余白 + 右余白 \geq 用紙の幅 - 104mm



4 【完了】をクリックします。

5 作成した用紙名が用紙リストの一番下に追加されます。



用紙情報を編集する

用紙設定ツールでは、登録するときに設定した用紙サイズや余白以外に、さらに詳細な情報を設定することができます。

印刷したときに文字がずれてしまう場合や、印字がかすれて印刷される場合などに、用紙情報の設定を変更すると、印刷の問題が解決できることがあります。また、印刷に使用するリボンや用紙の種類により推奨される駆動電圧などを、用紙情報ごとに設定することができます。

用紙情報の編集は、次のような項目を設定することができます。

- 新しい用紙情報を作成する
- 用紙情報を削除する
- 用紙情報をコピーし、新しい用紙情報を作成する
- 用紙の基本情報（用紙名、用紙サイズ、用紙種別、余白）を変更する
- 印字位置を微調整する
- 印字濃度を微調整する
- リボン種別を選択する
- リボンの駆動電圧を微調整する

お願い

- Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XPをお使いの場合、新しい用紙情報を作成するには、管理者権限またはシステム変更の権限を持ったユーザー名でログインする必要があります。

1 一覧で編集する用紙名を選択して、[用紙(P)]メニューをクリックし[用紙の編集(E)]を選択します。

[用紙]ダイアログボックスが表示されます。



2 各項目を変更します。

[用紙]ダイアログボックスは機種により設定できる項目が異なります。お使いの機種を確認の上、次ページのダイアログボックスの説明を参照してください。

3 すべての設定が終わったら、[□]をクリックし、[終了]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

[用紙] ダイアログボックスの説明

< CI-100 をお使いの場合の [用紙] ダイアログボックス>



< CI-200 をお使いの場合の [用紙] ダイアログボックス>



① アイコン



用紙カウンターが 1 番の用紙情報を表示します。



用紙カウンターが 1 つ前の用紙情報を表示します。



用紙カウンターが 1 つ次の用紙情報を表示します。



用紙カウンターが最後の番号の用紙情報を表示します。



変更した内容を適用し保存します。



新しい用紙情報を登録します。[用紙作成ーその 1] ダイアログボックスが表示されます。



現在表示している用紙情報をコピーし、新しい用紙情報を作成します。



現在表示している用紙情報を削除します。

② 用紙名

現在編集している用紙情報の名前が表示されます。名前を入力し直して、用紙名を変更することができます。用紙名は最大 30 文字まで入力することができます。

③ 用紙種別

現在編集している用紙情報の用紙種別が表示されます。ボックス右端の [▼] をクリックして、用紙種別を変更することができます。

④ 用紙サイズ

現在編集している用紙情報の用紙サイズを表示します。数値を直接入力し直すか、ボックス右端の [スクリューボタン] をクリックして、用紙サイズを変更することができます。

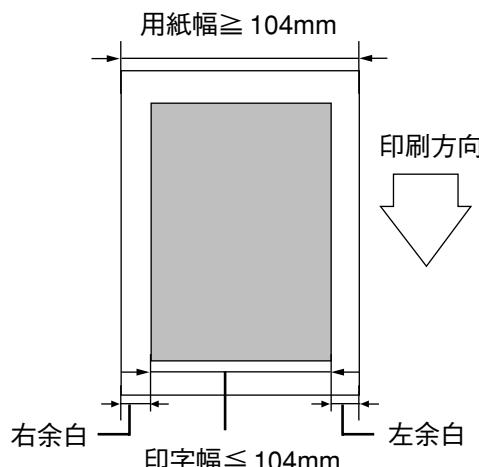
⑤ 余白

現在編集している用紙情報の上下左右の余白を表示します。それぞれの余白の数値を直接入力し直すか、ボックス右端の [スクリューボタン] をクリックして、余白を変更することができます。

補足

- 本機で印刷できる印字幅は、104mm までです。幅が 104mm 以上ある用紙に印刷する場合は、印刷領域の幅が 104mm 以内に収まるように左右の余白を設定してください。

例： 左余白 + 右余白 \geq 用紙の幅 - 104mm



⑥ 位置微調

位置がズれて印刷されてしまうときに、縦方向または横方向の印字位置を調節します。数値を直接入力するか、ボックス右端の  [スクリューボタン] をクリックして設定します。

< CI-100 の場合 >

● 縦

印刷の向きに対して上下の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.1mm 印字位置が移動します。-300 ~ 100 の範囲で数値を設定できます。

● 横

印刷の向きに対して左右の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.1mm 印字位置が移動します。-999 ~ 999 の範囲で数値を設定できます。

< CI-200 の場合 >

● 全体縦

印刷の向きに対してすべての印字ヘッドの上下の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.1mm 印字位置が移動します。-300 ~ 100 の範囲で数値を設定できます。

リボン種類のヘッド 2 が [幅広メタリック]、[幅狭メタリック]、[幅広剥離板]、または [幅狭剥離板] の場合、位置微調の有効値は -300 ~ 40 の範囲となります。プリンタ側で 40 以上に指定したときは、自動的に 40 に補正します。

● 全体横

印刷の向きに対してすべての印字ヘッドの左右の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.1mm 印字位置が移動します。-999 ~ 999 の範囲で数値を設定できます。

● ヘッド 1 縦

印刷の向きに対して第 1 印字ヘッドの上下の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.01mm 印字位置が移動します。-999 ~ 999 の範囲で数値を設定できます。

リボン種類のヘッド 2 が [幅広メタリック]、[幅狭メタリック]、[幅広剥離板]、または [幅狭剥離板] の場合、位置微調の有効値は -900 ~ 400 の範囲となります。プリンタ側で 400 以上に指定したときは、自動的に 400 に補正します。

● ヘッド 1 横

印刷の向きに対して第 1 印字ヘッドの左右の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.01mm 印字位置が移動します。-400 ~ 400 の範囲で数値を設定できます。

● ヘッド 2 縦

印刷の向きに対して第 2 印字ヘッドの上下の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.01mm 印字位置が移動します。-999 ~ 999 の範囲で数値を設定できます。

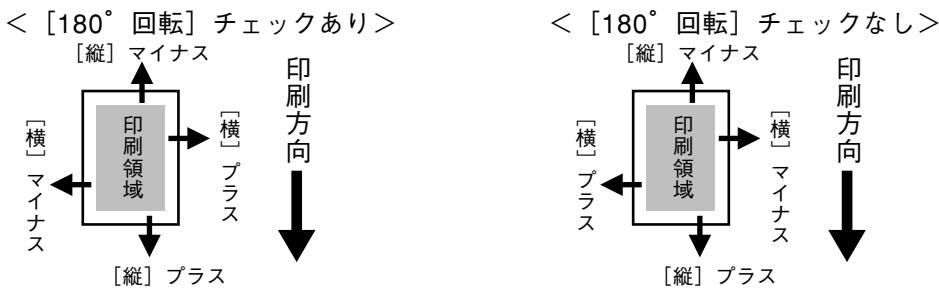
リボン種類のヘッド 2 が [幅広メタリック]、[幅狭メタリック]、[幅広剥離板]、または [幅狭剥離板] の場合、位置微調の有効値は -900 ~ 400 の範囲となります。プリンタ側で 400 以上に指定したときは、自動的に 400 に補正します。

● ヘッド 2 横

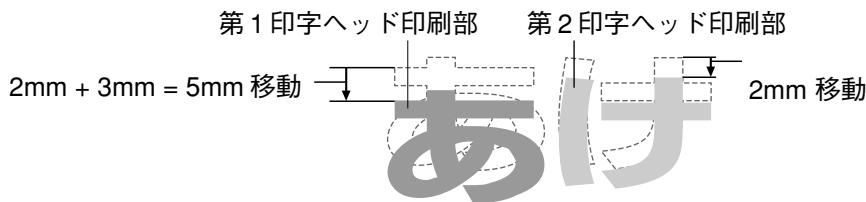
印刷の向きに対して第 2 印字ヘッドの左右の位置を調節します。数値を 1 変更すると実際には 0.01mm 印字位置が移動します。-400 ~ 400 の範囲で数値を設定できます。

補足

- ・[縦] [全体縦] [ヘッド1縦] [ヘッド2縦] では、印刷方向を下向きに考えた場合、プラス値を設定すると印字位置が下に移動し、マイナス値を設定すると上に移動します。
- ・[横] [全体横] [ヘッド1横] [ヘッド2横] では、印刷方向を下向きに考えた場合、プラス値を設定すると印字位置が右に移動し、マイナス値を設定すると左に移動します。
- ・印刷する際にプリンタドライバの [印刷設定] タブで [180° 回転] をチェックを外して印刷した場合は、[横] および [全体横] の位置微調の設定は通常とは逆向きに適用されます。



- ・[全体縦／横] と [ヘッド1縦／横] [ヘッド2縦／横] の位置微調を両方設定した場合は、全体の位置微調を適用した上で、さらにヘッドごとの位置微調を適用します。よって、例えば [全体縦] を「20」にし [ヘッド1縦] を「30」、[ヘッド2縦] を「0」にした場合、第1印字ヘッドで印刷する部分は、5mm 下に移動し、第2印字ヘッドで印刷する部分は下に 2mm 移動することになります。



印字位置を微調整する

印刷データがずれて印刷されてしまうときは、[位置微調] を変更することで、印字する位置を微調整することができます。

印字位置を微調整したい場合は、まず印字位置調整用パターンを印刷して、どれくらい位置がずれているかを確認します。➡『P.65』

ずれている方向や距離を確認したら、用紙設定ツールで用紙リストから印刷に使用する用紙名を選択し、[用紙] メニューの [用紙の編集] を選択して、[用紙] ダイアログボックスを表示します。

印字位置の調整は、[用紙] ダイアログボックスの [位置微調] で設定します。

● 印刷データ全体の印字位置を微調整する

ドキュメントを印刷したときに、下記図のように印字位置が上に 2mm、左に 1mm ずれてしまうような場合は、次のように位置微調を設定します。

< CI-100 の場合 >

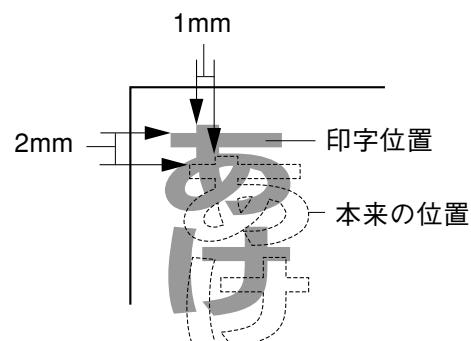
[縦] : 20

[横] : 10 (-10 : [180° 回転] オフの時)

< CI-200 の場合 >

[全体縦] : 20

[全体横] : 10 (-10 : [180° 回転] オフの時)

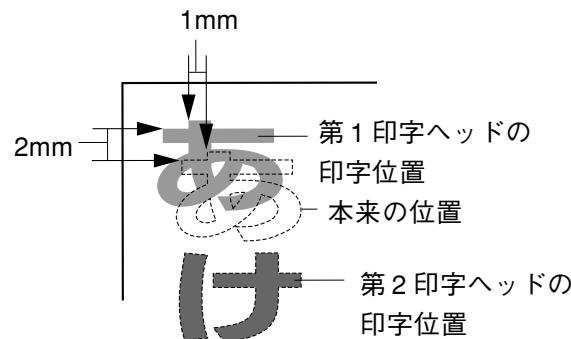


● 特定の印字ヘッドごとの印字位置のみを微調整する (CI-200 使用時)

ドキュメントを印刷したときに、下記図のように第1印字ヘッドの印字位置だけが上に 2mm、左に 1mm ずれてしまうような場合は、次のように位置微調を設定します。

[ヘッド1 縦] : 20

[ヘッド1 横] : 10



⑦ 濃度微調

印字がかすれたりにじんで印刷されてしまうときに、印字濃度を微調整します。-20～20の範囲で数値を設定できます。設定値をプラスにすると印字濃度が濃くなり、マイナスにすると薄くなります。数値を直接入力するか、ボックス右端の■[スクリューボタン]をクリックして設定します。

補足

- CI-200をお使いの場合は、印字ヘッドごとに濃度微調を設定します。
- 用紙（紙質）とリボンの組み合わせで、濃度微調が異なります。推奨設定値については、別紙の「印刷条件の目安」を参照してください。

⑧ 白抜き文字印字

背景を塗りつぶして白抜き文字を印刷したいときなど、塗りつぶして印字する部分が多い場合にチェックします。白抜き文字をより鮮明に見えるように印字することができます。

⑨ リボン種別

本機に装着しているリボンの種類を選択します。

補足

- CI-200をお使いの場合は、印字ヘッドごとにリボンの種別を設定することができます。
- リボンの種別がわからない場合は、リボンが梱包されていた箱に記載がないか確認してください。それでもわからない場合は、リボンの型番を確認の上、リボンをお買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。

⑩ リボン駆動電圧微調

巻き取り側と送り側のリボンモーターに加える電圧補正值をそれぞれ設定します。-50～50の範囲で数値を設定できます。

数値を直接入力するか、ボックス右端の■[スクリューボタン]をクリックして設定します。

補足

- CI-200をお使いの場合は、印字ヘッドごとにリボン駆動電圧微調を設定します。

お願い

- リボン駆動電圧微調の設定は、お使いのリボンの仕様にあわせて設定する必要があります。不正な値を設定すると、正しく印刷されなかったりリボンが損傷したりする恐れがあります。リボンの種類とその推奨設定値については、別紙の「印刷条件の目安」を参照してください。

用紙リストの順番を変更する

用紙リストに表示する順番を変更することができます。

- 1** 移動したい用紙をリスト上で選択して、右クリックします。



- 2** メニューが表示されますので移動先を選択してください。

[最前列に移動]

用紙リストの一番上に移動します。

[最下列入移動]

用紙をリストの一番下に移動します。

[カット] / [ペースト]

用紙をリストの任意の位置に移動します。メニューから [カット] を選択し、次に移動したい位置の 1 つ上の用紙を右クリックし、表示されたメニューから [ペースト] をクリックします。



補足

- ペーストされる位置は、移動先として選択した用紙の次のリストになります。

印字位置調整用パターンを印刷する

印字位置を微調整する前や、印字位置を微調整した後に、印字位置調整用パターンを印刷して印字位置を確認することができます。

- 1** 【スタート】ボタンをクリックし、[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択します。
[プリンタ] フォルダが開きます。

補足

- Windows XPをお使いの場合は、【スタート】ボタンをクリックし、[プリンタとFAX (P)]を選択して、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。

- 2** CI-100またはCI-200プリンタを選択し、
[ファイル(F)]メニューをクリックして
[プロパティ(R)]を選択します。

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。



- 3** [カラー設定]タブを表示します。
<CI-100をお使いの場合>
【色変更...】をクリックします。



<CI-200をお使いの場合>

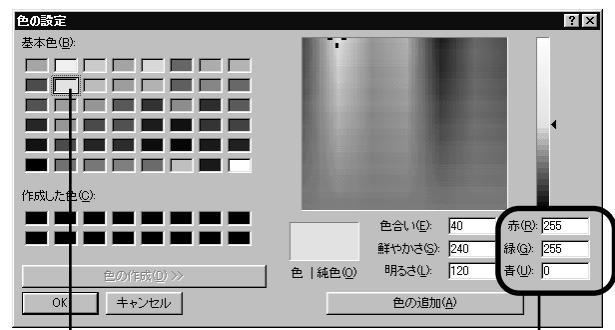
[ヘッド1+ヘッド2]をチェックし、[ヘッド1+ヘッド2]の【色変更...】をクリックします。

補足

- CI-200では、ヘッド1とヘッド2両方で印字調整用パターンを印刷し、両ヘッドの印字位置の違いを調節します。



4 [基本色(B)]から黄色(赤:255、緑:255、青:0)を選択し、【OK】をクリックします。



赤:255、緑:255、青:0

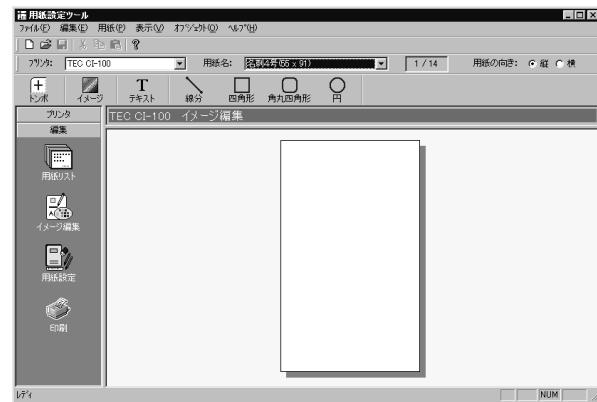
ここに選択した
色の数値が表示
されます。

5 [用紙設定]タブを表示し、【用紙設定】をクリックします。

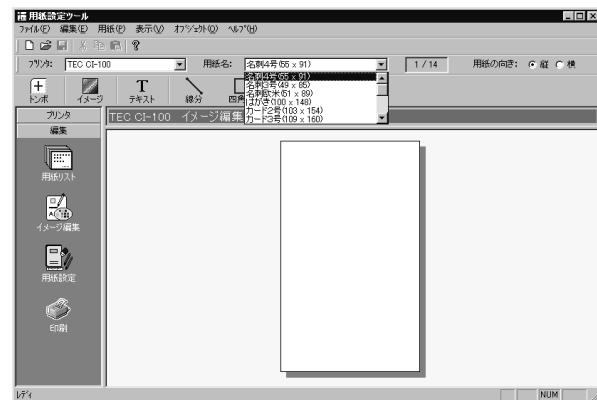
用紙設定ツールが起動します。



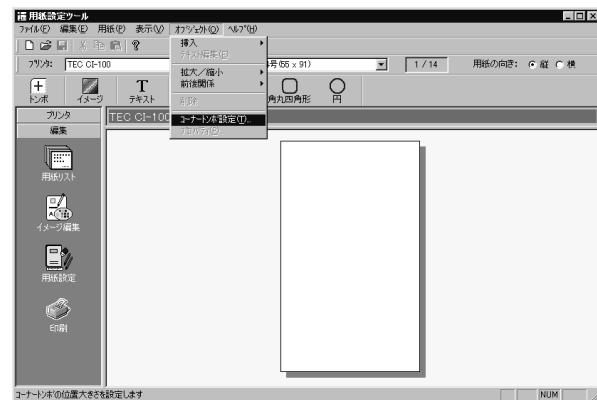
- 6** アクセスバーの[編集]をクリックし、[イメージ編集]アイコンをクリックします。
イメージ編集画面が表示されます。



- 7** 用紙ツールバーの[用紙名]で印字位置を確認する用紙を選択します。
イメージ編集画面の用紙が選択した用紙に変わります。



- 8** [オブジェクト(O)]メニューをクリックし、[コーナートンボ設定(T)]を選択します。
[コーナートンボ]ダイアログボックスが表示されます。



- 9** [描画方式(D)]ボックスで[用紙端に沿って四角形を描画する]を選択し、[用紙端からの距離]の[横(X)]ボックスに端からの横距離を、[縦(Y)]ボックスに端からの縦距離を入力します。

【OK】をクリックし、設定を保存します。

お願い

- 【用紙端からの距離】で設定した数値は、メモを取るなどしてわかるようにしておいてください。印刷した後に印字位置を確認するときに、この距離を基準に確認します。



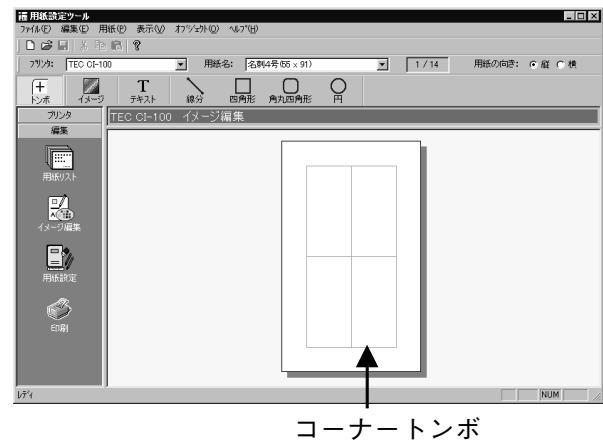
10 [オブジェクト(O)]メニューをクリックし、[挿入]—[コーナートンボ(T)]を選択します。

イメージ編集画面上にコーナートンボが挿入されます。



11 [ファイル(F)]メニューをクリックし、[印刷(P)]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



12 [プリンタ名(N)]ボックスでお使いのプリンタ名を選択し、[プロパティ(P)]をクリックします。

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。



13 [用紙名]で印字位置を確認する用紙を選択し、本機にセットされている用紙の向きに合わせて[印刷の向き]を選択します。

【OK】をクリックし、設定を保存します。



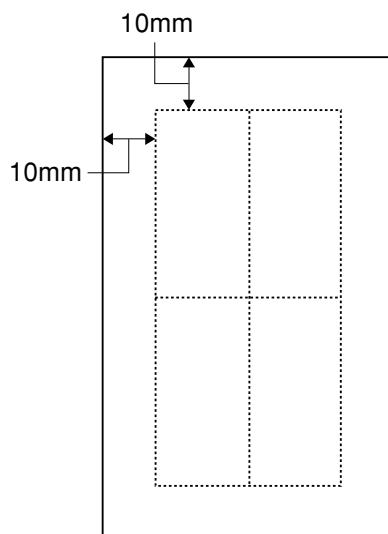
14 【OK】をクリックします。

印字位置調整用パターンを印刷します。

補足

- 用紙の端からコーナートンボまでの距離を確認し、設定した値と一致しない場合はずれている分を再度[位置微調]で設定します。➡『P.60』

例えば、コーナートンボの設定で用紙端からの距離を「10mm」に設定していた場合は、用紙端からの距離が実際に10mmになっているかどうかを確認します。



[名刺4号の場合]



困ったときは

印刷になんらかの問題が起きた場合は、以下の説明を参照し、適切な処置を行ってください。

補足

- ここでは、印刷に関する問題とその解決方法について説明します。「用紙詰まり」や「リボン切れ」など本機そのものに関する問題の対処方法については、製品に同梱されている CI-100/200 取扱説明書を参照してください。

印刷できないとき

印刷できない場合は、いくつかの原因が考えられます。以下のことを確認してください。

1. 本機の電源が入っているか確認してください。
2. プリンタケーブルが正しく接続されているか確認してください。
3. 正しいプリンタドライバを選択して印刷しているか確認してください。
4. 本機でエラーが発生していないか確認してください。

それでも印刷できない場合は、プリンタドライバをアンインストールし、再度インストールして印刷してみてください。

白紙が印刷されるとき／印刷されない部分があるとき

プリンタドライバのカラー設定とアプリケーションで使用している色が一致していない部分は印刷されません。

プリンタドライバの【カラー設定】タブの設定と、アプリケーションで印刷されない部分で使用している色が一致しているか確認してください。➡『P.39』

また、アプリケーションを起動したままカラー設定を変更した場合、アプリケーションによっては変更した内容が印刷に反映されないことがあります。このようなときは、アプリケーションを起動し直してください。

すべて印刷されてしまうとき

【位置微調】を設定して再度印刷してみてください。➡『P.60』

かすれて印刷されてしまうとき

【濃度微調】を設定して再度印刷してみてください。➡『P.63』

にじんで印刷されてしまうとき

【白抜き文字印字】を設定して再度印刷してみてください。➡『P.63』

画像がきれいに印刷されないとき

プリンタドライバのカラー設定で色指定をしている場合、画像に複数の色が混ざっていると、指定した色と一致しない部分は印刷されません。また、指定色の中間色も印刷されません。

プリンタドライバの【カラー設定】タブの【描画方式】で【グレースケール】(CI-100のとき)【グレースケール+未使用】【指定色+グレースケール】(CI-200のとき)を選択し、画像をグレースケールに変換して印刷してください。➡『P.39』

プリンタドライバ操作マニュアル

テック 名刺・ハガキプリンタ

CI-100/200

東芝テック株式会社